

ト云フコトニ進ムニアラザレバ、此事業ノ完全ナル發達ハ期シ難イ、而シテ又銑鐵ニ付テハ其外ニ副產物ヲ產出スルト云フ最モ重要ナ意味ガアルノデアリマスカラ、鋼、銑鐵ト云フモノヲ較ベマスレバ、是ハ事業ノ中ノ工程ノ一ツデアブテ、殊ニ銑鐵ニ對シテハ重キ保護ヲ加ヘナケレバナラヌ性質ノモノデアル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレニ對シテハ政府ハドウ云フ御考デアルカ、即チ日本ニ於テ一貫シタル仕事ヲシテ、而シテ自給自足ノ域ニ達スル見込ミガアルヤ否ヤ、銑鐵ト鋼トノ關係ヲ如何ニ政府ハ見テ居ラレルカ、此二ツデアリマス、ソレカラ第一ニ同ヒタイコトハ、唯此際保護ヲ加ヘルト云フコトダケデアリマシテハデス、外ノ施設ガ之ニ伴ハナケレバ、將來鐵ニ對スル國策ノ樹立ヲ見ルコトハ出來ヌト思フノデアリマス、是モ屢々各調査會ニ於テ攻究サレタル如ク、成ルベク合同政策ヲ取ル、乃至又關稅ノ外ニ鐵道ノ運賃ニ依シテモ保護スル、或ハ技術ノ改良進歩ニ對スル唯今私ノ申述ベル所ノ政府ノ御意テハ政府ハ如何ニ御考デスカ、是ハ要スルニ此關稅ヲ審議イタシマスル上ニ於テ、鐵ヲ圓ルヤウナコトガアリマスガ、之ニ對シテハ政府ハ如何ニ御考デスカ、大イナル参考ニナルト思ヒマスノデ同フノデアリマス、即チ結論ドシマシテハ國策ト並ニ對スル施設方策如何ト云フコトガ、大イナル參ソレニ對シテハ第一第二トシテ御尋ネシテ居ル、成ルベクの確ナ詳細ナル御説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス

ニ製鐵調査會ナルモノヲ設ケマシテ斯道ノ
練達ノ人ニヲ煩シマシテ、最モ精密ナル調
査ヲ致シマシタコトハ郷男爵ニ於テモ委員
ノ一人トナラレテ御努力下サレテ居ル次第第
デゴザイマスカラ、今更其願未ヲ詳シク申
上ダルマデモナク御諒承ノコトデアルト存
ジマス、而シテ其調査ノ結果ハ銑鐵ヲ始メ
製鋼ニ至ル迄自給自足ハ出來得ルト云フ結
論ヲ見テ居ルノデアリマス、而シテ其自給
自足ヲ爲サシムル爲ニ資本ヲ合同シテ半官
半民ニ組織スル方ガ宜シイ、又其組織ヲ進
メル迄ノ經路トシテ種々ノ施設指導ヲ爲ス
ベキ事項ヲ示シテ復申ヲサレタノデアリマ
ス、此決議ニ基キマシテハ私ハ就任早々ヨ
リ其實際ニ付テ更ニ調査ヲ致シテ見タノデ
アリマスルガ、調査委員ノ決議ナルモノハ
正鵠ヲ得テ居ルト大體ニ認メタノデアリマ
ス、世間或ハ銑鐵ハ他國ヨリ輸入セシメテ
鋼鐵ヲ内ニ造ルト云フ方ガ適當デアルト云
フ論モアルカモ知レマセヌガ、現ニ只今迄
ノ所ヲ見マシテモ銑鐵ノ需給ノ狀況ハ百
十一万九千噸ヲ要シテ居ルノデアリマス、
其中五十九万八千噸ハ八幡製鐵所、釜石、
輪西等ノ内地ニ於テ出來テ居ルノデアリマ
ス、五十二万噸ハ朝鮮兼二浦、鞍山、本溪
湖、及印度ヨリ輸入若シクハ移入サレテ居
ルノデアリマス、此中カラ六千噸程ノモノ
ハ内地ヨリ他ヘ輸出、若クハ移出ヲ致シテ
居ルノデアリマシテ、差引百十一万二千噸
ガ内地ノ需用ニナシテ居ルノデアリマス、即
チ大部分ガ既ニ内地ニ出來テ居ルコトハ此數
字ニ於テモ明ニナシテ居ルノデアリマス、然ラ
バ今後此内地ノ產額ヲ増加シテ行クト云フ
コトニ付キマシテハ、原料ヲ如何ニスルカ
ト云フ問題ガ直ニ起ルノデアリマスガ、
是ハ唯今マデハ内地ヨリ供給シテ居ル部分

方面カラ獲得シテ居ルノデアリマス、更ニ他ノ方面ニ於テ此原料ヲ確實ニ獲得スルトヲ求メテ來テ居ルノデアリマス、之ヲ速カ二調査シテ、相當原料ノ約束ヲ：：獲得ヲ致スベキ約束ヲ遂グサセタイト考ヘマシテ、追加豫算ニ其費用ヲモ求メテ居ル次第トガ出來ヤウト存ジマスシ、又國內ノ方面デアリマス、又其他ニ於キマシテモ、相當努力ノ上、原料ハ國外ニ於テモ獲得スルコトガ出來ヤウト存ジマスシ、又國内ノ方面カラ見マスルト、從來某ノ鑛山ノ鑛石ハ製鐵ノ爲ニ不適當、斯ウ云フ風ニ認メラレテ居リマシタモノモ、「コードクス」ノ作り方、其他配合ノ上カラ却テ有利ナル：：現在ノ需用シテ居リマス物ヨリモ適當ナルモノ、斯ウ見ラレルヤウナ物モアルヤウデアリマス、又一面ニ於テハ砂鐵其モノモ今少シ研究ヲ進メテ見マスレバ需要ヲ充タスコトガ出來ハセヌカト考ヘル節モアルノデアリマス、又從來硫酸渣ナドトシテ棄テ、居タル部分ノモノデ、之ヲ相當ニ施設ヲ以テ原料ニ致シマスルニハ、確カナル見込ミニニアルモノガアルト思フノデアリマス、關西ダケノ方面ニ於キマシテモ今日深ク這入リマセヌデ、極ク概括シテ見タ所ニ於テモ十五六万噸ノモノハ之ニ依テ得ラレルト思フノデアリマス、又從來不適當ト見テ居タルモノデ適當スルト云フ部分ノ如キハ、現在ノ科學ノ知識ニ於テ調査ヲ致シマスレバ尙出来ルト思フノデアリマス、是ヲ確定的ニ申上ダルニハ、今少シ餘裕ヲ置キマシテ、料ナル鑛石ハ、我國ノ需要ヲ満タスコトガ申上ダグタ所ノモノヲ的確ニ致スニアラザ

レバ、ハシキリドコノ銀山ニ於テノ質ハ期
ウ云フモノデアルト云フマデハ申上ダル時
期ニナッテ居リマセヌガ、今後ニ於テ調査
見マシテモ、十分ノ望ミアルカト思ハレル
ノデアリマス、シテ見レバ、原料ハ國外ニ
一段歩ヲ進メルコトヲシマスル以上ハ、銑
鐵ヨリ始メテ鋼鐵マデ及ボストンフコト
ハ、確カニ出來ルデアラウ、即チ世間ノ批
評ニゴサイマスル銑鐵ハ他ヨリ求メナケレ
バ、國內ニハ出來ナイト云フ議論ハ、其ノ
當ヲ得タルモノト思ハレヌノデアリマス、
而シテ現在ノ製鐵所ハ、此生産ノ上カラ見
マスルト不經濟ト云フ非難ハタシカニ免レ
ヌノデアル、畢竟是ハ歐洲大戰ニ際シテ輸
入ノ杜絶シマシタ場合ニ於テ、急イデ鋼鐵
ヲ備へ付ケタト云フガ如キ爲メニ、現在ニ
於テ收支ノ上ニ利益ヲ現ハスコトノ出來ナ
イ事情モ含マレテ居ルノミナラズ、其施設
モ銑鐵ヨリ始テ鋼鐵ニマデ一貫シテ行ク
ト云フコトニシマスルト、熱ノ經濟カラ申
シマシテモ、工程ヲ分離シテ行クコトヲ避
ケテ、繼續的ニ行クト云フコトノ方カラ言
ヒマスレバ、勞銀ノ上カラ申シマシテモ、
雜費ノ上カラ申シマシテモ、非常ニ生産費
ノ上ニ違ヒヲ生ジテ來ルノデアリマス、是
等ノ施設ノ改良ニ依テ製品ヲ安カラシム
モノニ對シマシテモ大體五年延期ヲ致シ
テ、サウシテ所得稅營業稅ノ如キ免稅ニ
シテ居ルト思ヒマス、即チ今回獎勵法ヲ改
正イタジマシテ、期限ノ迫テ居リマスル
ル、斯ウ云フコトハ、マダ十分ニ餘地ガ存
シテ居ルト思ヒマス、即チ今回獎勵法ヲ改

依クテ、此營業ヲ保護シテ行クト云フガ如キコトヲ繼續スル手段ヲ執リマシタコトモ、此製鐵事業ノ改善ヲナサシメル、サウシテ所謂自給自足ノ域ニ達セシメタイト云フ精神ニ外ナラヌノデアリマス、仰セノ如ク銑鐵ヨリ始マッテ鋼鐵ニ及ブト云フコトデナケレバ、銑鐵ヲ造りマスル間ニ種々ノ副產物ノ生ジマスルコトハ御説ノ通リデアリマシテ、是ハ一方ニ染料ノ國策ヲ立テ、行クト云フ上カラ必要蘭クベカラザルコトデアルコトモ勿論デゴザイマス、ソレデ我國トシマシテハ銑鐵ヨリ一貫シテ鋼鐵ニ及ボスト云フコトヲ獎勵シ、又其目的ヲ達スルヤウニシナケレバナラヌト考ヘマス、又其調査會ニ於テ自給自足ヲセシムル爲ニ執ツテ行クベキ徑路ニ對スル事項ノ中、運賃ノ引下ヲシナケレバナラヌト云フガ如キコトモ、是ハ目下鐵道省ト交渉中ニハ屬シテ居リマスガ、大體鐵道省ニ於テモ諒解ヲ得テ居ルノデアリマス、唯當業者ガ満足スル迄ニ行クカ行カ又カト云フコトハ、其結果ヲ見ナイ中ハ分リマセヌガ、大體引下ニ應ズルト云フコトノ意向ハ定マッテ居ルノデアリマス、又徒ラニ競争ヲシテ其結果價格ヲ無法ニ低落セシムルト云フガ如キコトヲ避ケル手段ト致シマシテハ、當業者ヲ集メマシテ、今後一致協力イタシテ各製鐵所ノ分野ヲ定メ、分野ヲ協定シテ、徒ラニ製品夥多ニ陷リ、爲ニ競争トナリ、價格ヲ不當引下ダナケレバナラヌト云フコトヲ防ガナケリマシテモ、抜ヶ駆ケノ功名ヲ致スト云フレバナラヌト云フコトニ對シテハ、當業者所ヨリ種々ノ弊害ヲ生ジ、爲ニ製鐵業者ニハ其趣旨ニ一致イタシテ、今其手段ヲ進メテ居ル所デゴザイマス、又製品ノ販賣ニ至リマシテモ、抜ヶ駆ケノ功名ヲ致スト云フテ、製品ノ種類ニ依クテ其弊ニ陥リ易キモ

ノハ、販賣ノ手段ヲ協定シテ、無益ノ競争ニ陥ルコトヲ避ケルコトニ於キマシテモ、當業者ハ一致シテ其途ニ進ンデ居ルノデアリマス、唯殘ル問題ハ資本ヲ合同シテ半官半民ニナスト云フコトデアリマス、是ハ一口ニ申シマスルト誠ニ宜シイコトデゴザリト、頗ル難事デアルノデアリマス、御承知ノ通り銀行ノ合併ニ致シマシテモ、保險會社ノ合併ニ致シマシテモ、隨分此合同ト云フコトハムヅカシイモノデアリマス、殊ニ八幡製鐵所ノ如キモノハ一種ノ作業會計ニナッテ居リマシテ、詰リ利益ガアレバ大藏省ニ納メル、金ガ足ラナケレバ出シテ貰テ使フト云フヤウナ風ニナッテ來テ居リマス、又民間ノ會社ニ致シマシテモ前申上ダル爲ニ、資產ノ勘定ノ如キモノモ民間ニ於ケル會社ノ資產、貸借對照表ノ如クニ行カヌ、大體ニ於テ明瞭ヲ闕イテ居ルト思ヒマス、又民間ノ會社ニ致シマシタ爲マシタ如ク、戰時中ニ急イデ造リマシタ爲ニ、今日カラ見マスルト所謂不當ノ資產ニナッテ居ル、斯ウ云フモノヲ適當ナル資產ニ看做シマスルニハ可ナリ而倒ガゴザリマスルト同時ニ、其資本ニ於テ其製品ガ收支ノ上ニ現ハス所ノ結果ハ、大體ドノ程度ニアルカト云フコトガ略、均衡ヲ得ルニアラザレバ、均衡ヲ得ヌニシマシテモ、正シキ據リ所ヲ以テ定メ得ラル、コトニナラナケレルト云フガ如キコトモ亦中々困難デアリマス、要ハ民間ノ會社ニ於テモ大體今申上ゲマシタ通りノ施設ノ下ニ、相當ノ間營業ヲ繼續イタシテ、サウシテ其會社ノ收支ト云モノガドノ程度ニナルト云フコトヲ一應參り難イト思フノデアリマス、ソレ故ニ八

幡製鐵所ハ此際會計法ヲ改メマシテ、大體ニ於テハ民間會社ノ勘定振リニ比較シテ見得ラレルヤウニ、又八幡製鐵所ハ資本ノ關係ガ前段申上ダタ通リデアリマスカラ、從業員等ノ働き振リニ於キマシテモ、自分デ擴張ニナルト云フガ如キ面白味ヲ有ツテ働くヤウニ致サナケレバ、能率増進ト云フコトモ出來得ナイト存ジマス、斯ノ如キ方針ヲ以チマシテ、此改ママスル所ノ會計法ニ依テ收支ノ勘定モ見込ガ付クヤウニ、又内容即チ其資産ト云フモノガドウニ云フ風ナツテ居ルト云フコトモ、詳細ニ中ニ入ヘテ正不正ヲ調ベル必要モアリマスルガ、大體ノ見當ハ之ニ依テ立テ得ラル、、即チ官營ノ方ニ於テモ斯ヤウニシ、民營ノ方ニ於テモ今申上ゲル通りニ進メマシタ曉ニアラザレバ、資本合同ノ如キコトヲ決行スルト云フコトハ中々容易デナイト思ヒマス、ソレデ此資本ヲ合同シテ半官半民ニスルガ宜イカ、官營ニスルガ宜イカハ是モ亦考慮ノ餘地モゴザイマセウガ、大體資本ヲニシテサウシテ統一的ニ經營ヲスルト云フコトノ理ノアルコトハ勿論デアリマス、殊ニ世界ヲ相手ニ此事業ヲシテ行キマスル上ニ於テハ大仕掛ノ仕事ニシテ、多量ノ生産ヲ爲スト云フコトニアラザレバ、之ヲ小サクソコニモ此處ニモ分ッテヤルト云フガ如キコトハ、收支ノ上ニ於テ損ガアルト云フコトハ明カラコトニアリマス、悉クトハ參リマスマイケレドモ大體ハ統一的ノ仕事ニ進ムト云フコトニシナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、サリナガラ是等ハ只今チニサウ云フ風ニスルト云フコトハ前段申上ゲルガ如ク出來得ナイト思ヒマス、其半官ニシヤウガ官營ニシヤウガ、將又民營ニ移

シマセウガ、之ヲ統一スルコトノ出來易イヤウニ致スコトガ目下ノ必要々件デアルウト存ジマス、今申上ダルヤウナコトニ運ビツ、アル所デゴザイマス、ソレデ大體ニ於キマシテハ御質問ノ御趣旨ノ如ク私ノ意旨ハ違ヒマセヌガ、之ヲ今半官半民ニスルト申上ダル時機デモゴザイマスマイ、又臣營ニスルガ惡イトモ申上ダル時機デモゴザイマスマイ、要ハ統一的ニ仕事ヲスルコトニシナケレバ不經濟デアル、其趣旨カラ言ヘバ資本ヲ合同スルコトガ伴フテ起ル、其場合ニ於テ爲シ易キ仕事ヲ今進メテ置クベキ時デアルトスウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第アリマス

答ガアツカト云フコトヲ詳シク承知イタ
シマセヌカラ或ハ重復スルカトモ考ヘマス、
其場合ニハ別ニ御答辯ナクテモ宜シウ
ガ、其場合ニハ別ニ御答辯ナクテモ宜シウ
ガザイマス、私ノ伺ヒタイト思ヒマス事柄
ハ、銑鐵ガ關稅ニ依ラズシテ保護ヲセラル
ト云フ結果、色々ノ利害得失モゴザイマセ
ウガ、一番茲デ私共ノ憂慮ニ堪ヘナイト思
ヒマス事柄ハ此銑鐵ニ對シテ新シイ研究、
新シイ製鐵法ガ起ラムトスルノガ此爲ニ非
常ナ打擊ヲ受ケルト云フコトデアリマス、
一言ニシテ申セバ、サウ云フ問題デアリマ
ス、獎勵法デハ一年三万五千噸以上ノ製造
能力ヲ有ツテ居ルモノデアリ、殊ニ伺ヒマ
スト云フト、製銑カラ鋼材マデ一貫シタル
トデゴザイマス、併ナガラ日本ノヤウナ國
デアリマスルト、現在ニ歐羅巴亞米利加ニ
於テ行ハレテ居ル所ノ製鐵法ガ果シテ日本
ニ適當シテ居ルカドウカト云フト、是ハ全
然日本ニハ適シナイ製鐵法デアルト云フコ
トヲ申シテ宜イノデアリマス、何故カト言
フト御承知ノ通り砂鐵ノ如キモノデアルト
云フト實ニ何億噸ト云フ鑄量ヲ有ツテ居リ
マス、或ル人ノ推算ニ依ルト云フト岩手縣
ノ砂鐵ダケデモ六億噸アルト云フコトデア
リマスト、其他ノ現在ノ製鐵法ニ於テ利用
シ得ラレナイ、或ハ利用スルコトノ困難ナ
ルノデアリマスカラ、日本全體ノ砂鐵ニア
リマスト、ガアルモノト思フ、其鑄石ヲ利用スルト云
フコトニ非常ニ努力ヲシ苦心ヲシテ居ツテ、
僅ナ能力ヲ持ツテ居ルト云フヤウナ製鐵所
ガ現在アル、サウ云フ所デ鐵ヲ造ルト云フ

コトニ對シテハ全ク國家ガ願ミラレナイ、所ガ是ガ一番必要デアル、若シ是ガ助成出来タナラバ今日ノ製鐵問題ト云フモノハ解決ガ出來テシマフ、一番苦ンデ居テ又番國家ニ必要ナルコトヤッテ居ル製鐵所ト云フモノガ、關稅問題ノ爲ニ全ク顧ミラレズ、打擊ヲ受ケテ仕舞フ、サウシテ唯歐米ノ通リノ製鐵法ヲ倣テ大資本ヲ以テ、併シ少シモ進ンダ所ハナイ、其通リノ眞似ヨシテ製鐵ヲヤッテ居ル大製鐵所ニ對シテハ、國家ガ保護スルト云フコトニナルト云フコト、總テ不合理ニナリハシナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、勿論マダサウノフヤウナ製鐵、唯今申シタヤウナ砂鐵ヲ原料ニスルトカ或ハ其他ノ鑛石ヲ原料ニスル製鐵ト云フヤウナモノハ今マダ到底成功ノ望ハナイノデアルカラ、斯ウ云フモノヲ顧ミラレル必要ハナイト云フノナラ、ソレ迄デアリマスケレドモ、是等ニ對シテモ何トカ獎勵ヲシテヤルト云フコトガ必要ハナリカト思ヒマス、勿論電氣精煉其他ニ對シテハ矢張リ相當ノ何ガアルヤウデアリマスケレドモ、是ニ對シテ一噸アタリドレダケ辅助スルトカ、何トカ云フコトハナイ、結局若シ是ガ關稅デ以テ引上ダラレテ居リマスト云フト、大キイノモ小サイノモ、古イモノモ新イノモ、無差別ニ保護サレル、是ハ全度關稅ガ通ラヌト云フコトニナリマスト云フト、ドウシテモソコノ間ニ不公平ガ起テ來ルノデアリマス、此問題ニ對シテハアドウ云フ御考ヘデゴザイマセウカ、若シ前ニ御質問ガアリマスレハ、又速記録デ拜見シテモ宜シウゴザイマス

國ノ此砂鐵ガ鐵ノ原料ニ供給ガ出來ルトナレバ原料問題ガ解決スル、大體ニ於テサウアリタイト思^フテ居リマス、即チ今回豫算ニ於テ此砂鐵ヲ研究イタシマスル爲ノ費用ヲ求メテ居リマスル所モ、其精神ニ外ナラヌノデアリマス、又近頃或ル人ガ東北ノ方面ニ、亞米利加ノ新規ノ機械ヲ据付ケテ、是ガ實際ノ仕事ニ移ラムトシツ、アルコトモ、此砂鐵ノ問題ヲ解決スルニ好成績ヲ得レバ幸ナリト思^フテ居ルノデアリマス、併ナガラ今回實行セムトスル所ノ獎勵法ノ上ニハ、極ク小部分ノ今御述ベニナリマシタヤウナモノニ適用スル簡條ハナイノデアリマス、是ハ前段申上ゲマス通り、砂鐵ヲ相當ニ研究イタシテ、果シテ原料ニ充當スルコトが出來ルカ否ヤト云フコトモ、マダ定^ムテ居リマセヌミナラズ、充當スルコトガ出來レバ、一般ノ銑鐵及ビ製鋼マデニ及ス所ニ利用サレルコトニナラウト思ヒマス、今大河内子爵ノ如キコトヲ一方ニ進メルコトモ一策カモ知レマセヌガ、是ハ鐵ノ國策樹立ト云フコトハ大體方針ヲ定イマシテ、是カラ進ンデ行キマスルニハ、マダ當業者ガ斯ウ改メル、斯ウシヤウト云フコトモ、實行ノ上ニ現ハレテ來ルノニハ、相當ノ曰子ヲ要シマス、此政府ノ方針ガ實際的ニ現レテ來ルト云フコトハ、直チニハ其結果ハ得難イト思ヒマス、即チ獎勵法ニ於テモ幾許ノ期間ハ銑鐵ヲ造^フテ、造^フタ銑鐵ヲ鋼材ノ材料ニ與^フテ鋼材ヲ造ルト云フ經路ヲ一貫シテ行クモノニ對シテハ獎勵金ヲ與ヘルト云フガ如キコトニ致シマスコトモ、是モ今日ノ現情ニ於テ已ムヲ得ナイ、果シテ大河内子爵ノ如キ御意見ガ又必要ナリト云フ時分ニハ、更ニソレニ相當スル所ノ考慮ヲ別ニ執ルト云フコトヨリ外唯今ノ所ニ於テ致シ方ナイト思^フ

○子爵大河内正敬君 私ノ伺ヒマシタノハ
大體サウ云フ意味デアリマスケレドモ、要
スルニ關稅ニ依テ保護ヲサレマス場合ニハ
總テノモノガ一樣ニ恩典ニ浴スル譯ナンデ
シタヤウナ新シイ製鐵法、而カモ、今日歐
米ニ於テ行ハレテ居ラナイ、日本ニ於テノ
ミ發達シ得ル可能性ヲ有ツテ居ル ヤウナ製
鐵法ヲ同時ニ獎勵スルコトニナルノデアリ
マス、關稅ノ保護ト云フコトガアリマスト
云フト、ソレニ對シテ必ズシモ銑鐵材ガ高
クナリマセヌデモ、是ダケノ關稅ノ保護ガ
アルト云フコトガ強味ニナッテ、勇氣付ケ
ルコトニナッテ、其方ノ研究ガ盛ニナッテ、
從ツテ新シイ製鐵法ガ此所デ以テ頭ヲ擡ゲ
テ來ル可能性ヲ有ツテ來ルト云フコトヲ申
シタノデアリマス、無論獎勵法ニ付テハ是ハ
仕事ガ或ル程度マデ成立ツテ參リマセヌト
云フト、ナカヽドウモ具體的ノ獎勵方法
ヲ立テルト云フコトハ困難ト思ヒマスガ、
若シ是ガ關稅ニアリマスナラバ考慮モ何モ
要ラズニ、全體ヲ極ク引き括メテ平等十保
護ヲスルコトガ出來ル、能ク世間デハナニ
關稅ヲ引上げナクテモ、獎勵法ヲヤレバ宜
イヂヤナイカト云フコトヲ一言ニシテ言ハ
レル方ガアリマスガ、決シテサウ云フモノ
デナイ、此獎勵金ニ依テ保護スルト云フコ
トヽ、關稅ニ依テ產業ヲ保護スルト云フコ
トノ間ニハ、非常ノ差異ガアルト云フコト
ヲ私ハ思フノデアリマス、當局モ此意味ニ
バ、一日モ早ク御實行ヲ願ヒタイ、斯ウ云
フ私ノ考デアリマス、モウ一ツ序ニ伺ツテ
ノ關稅ヲ變ヘ得ルト云フコトガアリマスレ
置キタイノハ、滿洲ニ於テ出來マス、日本

ノ滿洲ニ於テ設立サレテ居リマス、日本ノ主トシテ資本ノ這入リマシタ製鐵所、此所ノ生產ニ對シテドウ云フ御考ガアラウカトニ問題ハ此國策トシテ鐵ヲ樹立シテ行クト云フ上ニ於キマシテハ、必ズシモ日本内地デノミ鐵ガ出來ナクトモ宜イ、近イ所、少ナクトモ朝鮮、滿洲地方ニ於テ鐵ガ出來マシテモ勿論ソレデ差支ガナイト思ヒマス、所ガ此所ハ御承知ノ通リ本谿湖ニ致シマシテモ、或ハ滿鐵ノ鞍山ニ致シマシテモ、ドウシテモ是ハ關稅ヲ以テ迎ヘナケレバナラヌ、關稅ヲ持ツテ日本ニ這入ツテ來ルノデ、此處デ滿洲ニ於ケル製鐵業ヲ、日本人ノ關與シテ居ル製鐵業ヲ保護シヤウトスルト、ニ對シテ助成金ヲヤルト云フ譯ニ參リマセヌ、何カソコニ名案ハ無イデアラウカ、私ノ一私案トシテ考ヘテ居リマス事柄ハ滿洲ニ於テ生產セラレマス、日本人ノ製鐵所、殆ド日本ニ來ルモノハ日本人ノ製鐵所ヨリ外ゴザイマセヌカラ、滿洲ニ於テ生產セラレタル鐵ト稱シテモ、宜ノデゴザイマスガ、併シ鋼ハ極ク僅大連ニ出來マスガ、滿洲デ出來マスル鐵、鋼ヲ日本ニ於テ消費シタ場合ニハ、此消費者ニ對シテ先づ約關稅ニ相合ツテ居ラレル、殆ド關稅ニ相當シタヽケノ助成金ヲヤツテ居ラレル、ソレト同ジヤツ、關稅ヲ拂ツテ這入ツテ來マシタ造船材料ウナ制度ヲ滿洲ノ鐵ニ對シテ採ラレルノモ、内地ノ造船業者ニ對シテ政府ガ助成金ヲヤツテ居ラレル、殆ド關稅ニ相當シタヽケノ助成金ヲヤツテ居ラレル、丁度造船材料ノ助成金ヲヤツテ居ラレル、ソレト同ジヤツ、關稅ヲ拂ツテ這入ツテ來マシタ造船材料ウナ制度ヲ滿洲ノ鐵ニ對シテ採ラレルノモ、ゴザイマセウガ、丁度戻シ稅ニ相當シタモ

ノデナクトモ宜イダラウト思ヒマス、又生産者ニ對シテ直接ニ補助スルモノデナク消費者ニシヤウニ國家ハ獎勵ヲシテ行^フテ、サウシテ初メテ此處デ滿洲ト日本ト一緒ニヤルテ製鐵業、製鐵國策ト云フモノガ樹立サレルデハナイカスウ云フ具合ニ考ヘルノデアリマス、此問題ニ付テモチヨット御意見ヲ承^ムテ置キタイ、○國務大臣(片岡直溫君) 滿洲ニ於ケル鉄鐵及ビ鐵ニ對シテドウニ云フ考ヲ有^ムテ居ルカト云フ御趣旨ニ下ニ御意見ヲ附シテノ御尋ヲ蒙^ムタノデアリマスガ、滿洲ハ我ガ領土デナイ以上ハ日本ノ法規ヲ之ニ適用スルト云フコトノ出來ナイコトハ今更申スマデナイコトデアリマス、然シナガラ滿洲ニ於テ我カ邦人ガ、我カ資本ヲ以テ仕事ヲ致シマス、然リナガラ滿洲ハ其關稅ヲ日本ニ輸入スル時分ニハ關稅ヲ課セラレルノデアリマスカラ、關稅が引^ムタ爲ニモ確ニ苦痛ヲ感ジマス、斯ウ云フ場合ニ於テモ何トカ考慮スル必要ガ無論起ルノデアリマス、今回ノヤウニ内地ノ方ニ對シテ銑鐵ヨリ起^ムテ進ンデ行キマスルモノニ對シテ相當ノ保護ヲ致シマスト云フ時分ニ、滿洲方面ハ無視セラレルト云フノトニナツテハ、頗ル不利益且ツ困難ニ陥ルト云フコトハ、避ケ得ラレナイト思ヒマス、併ナガラ成ガ領土ニ非ザル處デゴザイマスルガ爲ニ、滿洲カラ來ル銑鐵ニ對シテハ助成金ヲヤルトカ、補助ヲヤルトカト云フが如キコトハ出來難イノデアリマス、去リ乍得ラル、方法ヲ講ジナケレバナラヌ筈デアリル、是ハ別ニ考慮シナケレバナラヌト云フ

考ヲ持テ店リマシテ、十五年度ヨリ直ニト云フコトニ實現ハ甚ダ困難デアリマスガ、十六年度ヨリハ何等カノ考慮ノ結果、今御心配ノ如キ點ヲ緩和スル方法ヲ採ル考デアリマス、一言ニ言へバ満洲方面ニ對スル鐵道ニ對シテハ、別ニ考慮ヲ致ス、此程度以上ニ其内容ニ入テ申上ルコトハマダ出來マセヌガ、出來マセヌシ又宣シクモナイト思フ、是ハ決シテ差別シテ居ラヌ、斯ウ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵鄉誠之助君　只今ノ問題ニ附帶シテヨコト伺ヒタインデスガ、先刻私ハ質問打切ト申シマシタケレドモ、只今大河内子爵ノ質問ニ關聯シテヨコト伺ヒタインコトガアル、満洲ノ製鐵ニ對シテハ差別的待遇モセヌト仰シャイマスガ、満洲ニハ何モ一般シタ設備ヲ持ンテ居ルノデハナイ、今日ノ所デハ唯銑鐵ヲ造ルト云フコトダケデアッテ、今度ノ獎勵法ト云フモノハ、銑鐵ヲ一般ニ保護スルト云フコトニアラズシテ、一貫シタル設備ヲ有ツテ居ル者ヲ保護スルト云フノデアリマスカラ、其趣旨カラ言ヒマスレバ、滿洲ノ鐵ト云フモノヲ間接ナル方法ニ依リ保護サルベカラザルモノデ、即チ差別待遇ヲ受ケル方ノ精神ノ上ニ於テソウ思フノデアリマスガ、ソレハドウデアラウカ、ソレカラモウ一ツノ點ハ銑鐵ニ今度ノ獎勵法ハ是ハ八幡ノ製鐵所ニハ適用セヌト云フコトデアリマスガ、サウスルト八幡製鐵所内ニ於ケル鋼材ノ方ハ、關稅ニ依フテ間接ニ保護サレル、然ルニ同ジ八幡ノ製鐵所内ニアル所ノ銑鐵ノ方ハ保護サレヌト云フコトニナル、甚シク其間ニ矛盾ガアルヤウデアル、其二點ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(片岡直溫君)　滿洲ハ今銑鐵ヲ造リマスコトガ多クシテ、鐵ニマデ及シデ居ルモノハ極メテ少ナイト存ジマスルガ、

イリナカテ此鞍山ガノ如キハ多クハ資金ヲ投ジテ、アノ貧鑛ヨリシテ銑鐵ヲ造ラヘルマニ進ンダノアリマス、只今ノ所ニ於テセヌカラ確ニハ分リマセヌカ、サウ承^トテ居リマス、本溪湖ハマア御承知ノ通リノ次第デアル、日本ノ銑鐵ノ需要ハ百十一万二千噸程デアブテ、其ノ中五十二万噸程ノ物ガ本溪湖、鞍山、ソレカラ印度、斯^ウ云方々カラ輸入ヲ、若クハ移入ヲシテ來テヤッテ居ル、サウスルト日本ノ製鐵ノ上ニハ鞍山方面ニ於テ出來マス銑鐵ハ必要デアリマス、製鐵ノ上ニ於テ必要デアル、ソレカラ一朝國家ニ事アルノ時ヲ考ヘレバ、アノ貧鑛ヨリシテ銑鐵ガ出來ルト斯^ウナツテ居ルカラ、今日ノ銑鐵ヨリ進ンデ一貫的ニ事業ヲ進メテ鋼鐵ニ迄及ボスヤウニ施設ヲスルコトガ必要デアルコトハ勿論ト考ヘマス、併シ今日ハソコ迄マダ行^シテ居ラヌ此時ニ當^ツテ内地ニ對シテノ部分ハ相當ノ保護ヲ受ケ、向^ウノ方ハ保護ヲ受ケナイノハ比較上苦痛デアル、左リトテ之ニ助成金ヲヤルガ如キハ、今日此銑鐵獎勵法ヲ拵ヘマシタ所ノ沿革理由カラ考ヘテ、許サナイノデアリマス、左リトテ全ク無視スルコトハ出來得ナイト思フカラ、之ニ對シテ考慮ヲ拂フ必要ハアルト私ハ存ジマス、次ノ御尋^スノハ八幡製鐵所ノ銑鐵ニ對シテハ、何等ノ利益ヲ與ヘズ、甚ダ不權衡デナイカト云フ御論デゴザイマスルガ、是ハ八幡製鐵所ハ今日テ居ラヌノデアル、今回會計法ハ改メマスルガ、此資本ニ對シ利子ヲ拂フコトヲ認メ、今日迄損失ヲ重ネタコトモ澤山アリマスルシ、最近ニ至^ツテハ相當ノ益ヲ舉ゲル

ヤウニナッテ來マシタガ、實ハ歐洲戰爭ノ
利子ノ勘定ヲスレバ、資本ハモウ悉ク償却
モウ今迄注ギ込ンダ金ハスカリ拂フテ、更
ニ若干ノ利益ヲ大藏省ニ收メタト云フ姿ニ
ナッテ居リマス、ソレハ何ガ爲ニサウナッテ
拂フコトガナクシテ、此處ニ來タノデアリ
マス、ソレ故ニ民間ノ方ト同一ニ之ニ保護
ヲ加ヘルト云フ必要ガナイト思フ、ソレ故
ニ此獎勵法ヲ此處ニハ適用セヌ、官營ノモ
ノニハ適用セヌ、是ダケノ理由デアリマス
○男爵鄉誠之助君 第二ノ私ノ質問ニ對シ
テハ、私ノ申シ分ガ惡カシタノデアリマス
カ、只今ノ御答辯ハ當シテ居ラヌ、私ノ御尋
ねシマシタノハ、何ガ故ニ八幡ノ製鐵所ニ
ハ保護ヲセヌカ、斯ウ申シタノデアリマ
セヌ、同ジ八幡ノ製鐵所内ニ於テ鋼ノ銑
ト云フモノヲ分ケマスルト、鋼ノ方ハ關稅
ニ依テ間接ノ保護ヲ受ケテ居ニ拘ラズ、
同ジ八幡ノ製鐵所ニ於テ銑ノ方ハ受ケテ居
ラヌデヤナイカ、此處ニ矛盾ガアルデバア
リマセヌカ、斯ウ云フコトヲ申上ダタ、ソ
レカラ第一ノ御質問ニ對シテ御答ガゴザイ
マシタ、私ノ申スノハ若シ關稅ニ依テ保護
スルト云フコトデアルナレバ、内地ノ銑鐵
ハ關稅ニ依テ保護サレルガ故ニ、滿洲ニ於
ケル所ノ事業ニ對シテモ、保護スルト云フ
意味ガ出テ來ル、ソレデ滿洲ニ於ケル所ノ
モノニ保護スルコトヲ私ハ熱望シテ居ル、
之ニ不贊成デハナイ、只理窟ガソレデハ合
ハヌデハアリマセヌカ、關稅ニ依テ保護サ
ハ内君ノ言ハレル通リ悉ク網羅シテ保護
モウ今迄注ギ込ンダ金ハスカリ拂フテ、更

ニ於ケル銑鐵ハドウスルカ、斯ウ云フ問題
ナッテ居ルトハ申シマセヌガ、大體

依テ保護シヤウト云フコトニナッテ來得ル、
併ナガラ今度ノヤウナ風ニ總テノ銑鐵ニ付
テ保護スルト云フコトデアリマシテ、一貫

シタモノニ付テ保護スルト云フコトガ法ノ
精神デアル以上ハ、ソレニ當嵌マラヌモノ

ハ保護サレヌト云フコトニナル、内地ニ於
テモ保護サレヌト云フコトニナル、然ラバ、

滿洲ニ於ケルモノハ、所謂「ステイール、
プラント」ヲ持テ居ラヌ、保護ノ精神カラ

行キマスト、サウ云フ矛盾ガ起ルデアリマ
ス

○國務大臣(片岡直溫君) 最後ノ御尋ハ滿
洲ニ對スル事柄ハ、別ニ保護スルトハ申シ
マセヌ、金額何ボー、銑鐵一噸ニ對シテヤ

ルト云フガ如キコトヲ申上ダルノデハナイ、
併ナガラ内地ニ於ケル銑鐵ト鋼鐵ニ及ンデ

行ク所ノ物ニ對シテハ保護獎勵ノ道ガア
マセヌカト云フコトヲ申上ダタノデアリマ
ス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 休憩イタシマ
ス、午後ハ一時三十分ヨリ開會イタシマス
ス、午後零時一分休憩

○男爵鄉誠之助君 マダ伺ヒタイコトガア
リマスガ餘り長クナリマスカラ此邊デ止メ
マス

○男爵東郷安君 商工大臣ガ御出席ノ爲
ニ、其前ノ類ノ中デモ質問ヲ省略シタモノ

ガアリスカラ、遡テ宜シウゴザイマスカ
バ御繼續ヲ願ヒマス

○男爵東郷安君 商工大臣ガ御出席ノ爲
ニ、其前ノ類ノ中デモ質問ヲ省略シタモノ

ガアリスカラ、遡テ宜シウゴザイマスカ
バ御繼續ヲ願ヒマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 宜シウゴザイ
マス

○男爵東郷安君 人造絹絲ニ付テ今少シ伺
ヒタノデアリマスガ、最近數年ニ於ケル輸

入人絹一封度當リノ平均ノ相場ハ大正八年
ノ七八圓程度ヨリ十年以降ノ三圓臺若ク

ハ四圓臺ニ漸減シテ參リマシテ、殊ニ現在
ニ於テ輸入上等品ト雖モ百封度當リ、即チ

十二貫目當リ四百圓見當デアル、サウシマ
スト云フト、今回ノ稅率ノ盛リ方ハ是ハ聊

カ過當デハナイカト云フコトガ數字ノ比較
現在ニ於テ既ニ一貫主義ヲ貫ク爲ニ助成法ヲ適用ス

ル、此一貫主義ヲ貫ク爲ニ助成法ヲ適用ス

ノ稅率ヲ以テ成立シ、十分ノ餘裕ノアル事
業デアルニ拘ラズ全回ノヤウナ高率ヲ

俄ニ引上ダラレルト云フコトハ今回ノ稅法
全般ノ改正ノ振合カラ申シマシテハ、如

キマシテノ御尋ネデゴザイマシテ、唯今ノ
人造絹絲ノ非常ニ好況ヲ呈シテ居ルト云フ

事態カラ見マシテ、輸入ノ價格等カラ見マ
シテ過當デハナイカト云フ御尋ネデゴザイ

マス、一應御允モノコト拜聽イタシタノ
デゴザイマスルガ、大體人造絹絲ト致シマ

シテハ世界ニ於テモ非常ナル產額ガ增加ヲ
致シテ參テ來テ居ルコトハ申上ダルマデ

モナインデゴザイマス、全體ノ產額ト致シ
マシテ、急激ニ進歩發展ヲ遂ゲテ參リマシ
テ、或ハ一億數千万磅ト云フヤウナ產額ヲ

見ルト云フヤウナ狀態デゴザイマスルノ
デ、今日ニ於キマシテ大體トシテ好況ヲ呈

シテ居ルト云フコトハ、一面ニ於キマシテ
需要ノ上カラ見マシテ、需要ガ非常ニ増加

イタシテ居リマス、ソレニ伴ヒマシテ生産
モ亦增加スルト云フ勢ヲ右シテ居リマスカ
ラ、斯様ニ盛況ヲ呈シテ居ル次第デゴザイ

マス、内地ニ於ケル機械ハ大體一面ニ於テ爲
替ノ安カタト云フコトモ非常ニ關係ヲ有シ

テ居リマスルノデゴザイマス、若シモ爲替ガ
恢復イタシテ參リマスレバ、是ハ壓倒的ニ

外國品ニ襲撃セラルルト云フヤウナ惧モゴ
ザイマス、或ハ又外國ニ於キマシテ、或ハ

國ノ如キハ大體東洋、日本等ニ之ヲ持シテ
來ルト云フコトヲ目的ト致シマシテ、殊ニ

此會社ヲ興スト云フヤウナコトモシテ居ル
カラモ出テ來ルノミナラズ、實際ノ内地ノ

キマシテモ今日「ヴィスコース」式ヲ以テ經

營イタシナ居ルノニアリマスケレドモ、是モ幾多改善ヲ要スベキ所ガゴザイマスル、ノミナラズ、此事業自體ガ御承知アラセラル通リニ、非常ニ償却ト云フモノニハ多額ノ金ヲ要スルト云フヤウナ狀態デゴザイマス、同時ニ先程申上ゲマシタル如クニ、各國ニ於キマシテハ非常ナ勢ヲ以て之ヲ製造シテ居ルノアリマシテ、サウシテ自國內ノ需要ヲ満タシマシテハ將來ニ於テ寧口東洋方面ノ市場ヲ投資ノ場所ニスルト云フヤウナ懸念セナイデハゴザイマセヌ、大體ニ於キマシテ產額ガ三百万封度、輸入ガ百万封度位ノモノト考ヘルノデゴザイマスガ、漸次ニ増シテ來ル此事業デアリマシテ、外國ニ於テモ左様ナ狀態デゴザイマスカラ、此際適當ナル保護ヲ加ヘルコトハ適當ナルコト、認メマシタ次第デゴザイマス、其他各國ニ於キマシテモ皆高率ノ關稅ヲ以テ之ニ臨ンデ居ルト云フコトハ、是ハ申上デルマデモナイコトデ、東鄉男爵ハ殊ニ御承知ノコトデゴザイマセウガ、或ハ三割或ハ四割、英國ノ如キデスラ、英國ハ一番良いモノヲ出シ得ルノアリマスル、英國ノ如キスラモ三割三分ノ稅ヲ以テシテ居ルト云フヤウナ次第デゴザイマス、今日盛況ヲ呈シテ居ルト云フ點カラ申シマスレバ、誠ニ御尋ネノ通りデアルト存ジマスルケレドモ、遠ク將來ヲ考ヘマシテ、而シテ又人造絹絲ナルモノガ或ハ天然絹絲ト並ビ、綿絲ト並ビマシテ、將來ニ於テ漸次ニ利用サレテ參リマシテ、或ハ織物モ出來テ來ルト云フヤウナ狀態デゴザイマスカラ、ソレ等ノ點ニ鑑ミマシテ、相當高率デゴザイマセウガ、斯ク致シタ次第デアリマス〇稻畠勝太郎君　此人造絹絲ニ今課稅ヲナサレマスルヨリモ、國內ニ於ケル人造絹絲ニ製造ヲ保護スルト云フ、唯今ノ御趣意ニ

依リマスレバ、今後二三年ノ中ニハ日本ニ於テモ各所ニ有力ナル工場ガ出來ルコトニナリマシテ、生産モ俄ニ其際にハ増スコトニナリマス、今日デハ日本ニ於キマシテモノ人造絹絲ノ利用ト云フコトガ盛ニナリマシテ、現今デハ人造絹絲ガ足リナイノニアリマス、足リナイモノニ對シテ稅ヲ掛ケルヨリモ、寧口此際ニハ課稅ヲセズニ廣ク安イテ、人造絹絲ヲ利用セシムルト云フ習慣ヲ付ケテ、サウシテ二三年後ニ人造絹絲ノ工場ト云フモノガ殖エマシタ時ニ課稅サレル方ガ、人造絹絲ノ工業ヲ保護スルト云フ意味ニ於テ適當デアラウト思フ、現ニ福井ニ於キマシテ、本年ノ二月ニハ人造絹絲ノ交ゼ織リノ織物ト云フモノガ、一万四千圓ヨリ出来ナンダノデゴザイマスガ、十二月ニ至リマシテ二十万八千、著シク需要ヲ増加シテ居ル、ソレニ高イ絲ヲ使ハシタナラバ、折角國內ニ於テ人造絹絲ノ利用ト云フモノガ行ハレツ、アル、發展シツ、アルモノヲ阻碍スル虞レガアル、況ヤ此人造絹絲ノ織物ト云フモノガ、支那ニモ將ニ輸出ノ途ガ開ケツ、アル、斯ウ云フ際ニハ安イ人造絹絲ヲ十分利用サシテ、人造絹絲ノ用途ト云フモノヲ十分擴張シテ置クト云フコトガ、將來ニ於テ興ル所ノ日本ノ人造絹絲ヲ保護スル所以デアラウト思フ、ソレデ私等モ全日本人造絹絲ニ課稅ヲナサレルト云フコトハ、時期尚早デナイカト思フノデアリマスルガ、此御意見ヲ伺ヒマス

アリマスガ、斯様ニ考へテ居リマスノデ、
御話ノヤウニ一時或ハ高率ノ關稅ヲ掛ケル
ガ爲ニ高クナルト云フヤウナコトガアルカ
モ存ジマセヌケレドモ、之ニ依リマシテ基
礎ヲ鞏固ニ致シマシテ、サウシテ臨ムト云フ
コトハ最モ大切ナルコトデ、人造絹絲ニ付
キマシテハ當ヲ得タル處置ニアラウ、斯様
ニ考へテ居リマスノデ、其點ニ付キマシテ基
ラ申シマスレバ、供給不足ノ爲ニ製造會社
ハ相當ナル利益ヲ收メテ居ルノデアリマス
絹絲ノ工業ト云フモノハ、需要供給ノ點カ
ス、ソレガ爲替位ノ差ノ影響スルヤウナコ
トデナイ以上ノ利益ヲ得テ居ル、爲替關係
位デ影響ハシナイノデアリマス、或ハ或人
ノ意見ニ依レバ、一相百五十圓モ利益ヲ收メタ
居ルト云フコトモ言ウテ居ルノデアリマス
カラシテ、一相三百圓ノモノヲ百五十圓モ
利益ヲ收メテ居ルト云フ如キモノニアレ
バ、爲替ニ關係スルト云フモノノデアルマトイ
ト思フ、ソレヨリモ此際ハ十分安イ人造絹
絲ヲ使用サシテ、サウシテ用途ヲ擴メルト
云フコトガ、私ハ唯今申上ダマシタ通り人
造絹絲ノ工業ノ保護ト云フ爲ニハ適當ニア
ラウト思フ、爲替關係ト云フコトニハ何等
今日ノ人造絹絲ノ工業ノ状態カラ見マスレ
バ影響シナイト私ハ信ジテ居リマス、會社
ノ基礎モ鞏固デアラウト思フ、今日ノ人造
絹絲工業ノ製造ノ状況カラ取リマスレ
バ…

賣ヲ以テ臨ンダラ宣イヂヤナイカト云フヤ
ウナコトモアリマスケレドモ、サウバカリ
モ参リマセヌ、特ニ又先程申上ゲマシタ東
洋ニ對シテノ輸出ヲ目的ト致シマシテ拵ヘ
ルト云フヤウナモノ出来テ參リマス、サ
ウ云フヤウナ點カラ考へマシテ、今日ニ於
テ之ヲ相當課稅スルト云フコトハ必要デア
ル、斯様ニ考へテ居リマス

○委員長(伯爵柳澤保恵君) 若シ十四類以
前デ大臣ガ居ラテナカッタノデ質問ヲ御保
留ニナツテ居ルコトガアリマスレバ、此際十
四類以前ノ御質問ヲナサレテモ宜シウゴザ
イマス、ドウセモウ一遍仕舞ノ方デ繰返シ
マスカラ、成ルベクナラバ順序ヲ統一シタ
方ガ宜カラウト存ジテ居リマス

○男爵郷誠之助君 四百六十二ノ鐵ノ部ニ
付テ御尋ヲ致シタイ、四百六十一ノ「二」ト云
フ所ニ、條及竿(ラー形、アングル形等)ノ
形狀ヲ有スルモノ(ヲ含ム)是ハ特ニ是バカ
リヲ御尋スル譯デハナイ、外ノモノニ付テ
モ詳シク伺ヒタイノデアリマスケレドモ、
此際ハ寧ロ是ダケラム伺ヒタイノハ、條及竿
ト云フモノガ最モ多ク使用サレテ居ルノデ
アリマス、是ガ政府ニ於テハドウ云フ計算
ノ御割出しシニナツテ此稅ヲ御盛リニナルコ
トニナリマシタカ、其計算ノ基礎ヲ伺ヒタ
イ

○説明員(三井米松君) 計算ノ基礎ヲ申上
ダマス、此計算ヲ出シマシタノハ、基準期
間ノ大正十一年ノ七月カラ大正十二年ノ六
月マデノ、基準期間トシテアリマスル期間
ノ條及竿ノ輸入ノ沖著價格ヲ平均イタシマ
スト八十九圓程ニナツテ居リマス、併ナガ
ラ色ヒ變遷ガゴザイマシタノデ、大正十三
年ノ全部ヲ見テ見マスト八十八圓、大正十
四年ノ上半年ヲ見テ見マスト九十二圓餘三
ナツテ居リマス、斯ウ云フ販ニ高クナッテ來

マスルト云フト、丁度内地ノ生産費ハ甚當
カラ、此際ニハソレ等ヲ標準ト致シマシテ
沖著價格ヲ定メタノデアリマス、サウ致シ
時ノ狀況デゴザイマスト云フト荷役其他ヲ
加ヘマシテ百一十三圓ト云フヤウナ計算ニ
ナッテ參リマシタ、此輸入價格ヲ全部ヲ加
ヘマスルト、丁度關稅十八圓ヲ越ヘナイデ、
凡ソ以内ノモノデ出來ルト云フ點カラ十八
圓ト云フモノヲ取りマシタノデゴザイマ
ス、然ルニ此鋼材ノ其後ノ狀況ヲ見テ見マ
スト、大分廉イ物ガ這入ンテ來ル狀況ニナッ
テ居ルノデゴザイマス、ソレ故ニ之ニ付キ
マシテハ相當考慮イタシテ見マシタノデゴ
ザイマス、然ルニ一面ニハ生産費モ亦其後
大分廉ク勉強シテ出來ル狀態ニナッテ居リ
マス、先ツ昨今ノ狀況ヲ見マスト云フト生
產費ハ或ハ廉イ所ニナリマスト九十五圓位
デ出來ルヤウナ狀態ニナッテ居リマス、ソレ
カラ又輸入ノ沖著價格ハ八十圓内外ト見テ
差支ヘナイヤウナ狀態ニナッテ居リマス、
之ニ依リマシテ計算ヲ立て、見マスト、矢張
リ丁度一面ニハ生産費ガ減リ、一面ニ沖著
價格ガ減、テ居リマス關係デ、矢張リ其所ニ
十八圓位ノ關稅ヲ掛ケマスト、凡ソ日本ノ
生產費トシマシテ十圓位ノ利益ガ見ラレル
ト云フ勘定ガ出テ參ルノデアリマス、唯大
陸法ノ沖著價格ハ非常ニ色ミ變化ガゴザ
イマシテ、大正十一年カラ十二年ニ至ル基
準期間デハ、九「ボンド」十三「シル」、十三
年ニハ、八「ボンド」五「シル」七「ペニス」、
十四年ノ上半セ「ボント」十「シル」九「ペ
ニス」、其他十四年下半ノ六「ボンド」十八
「シル」二「ペニス」、十五年ニナッテ居リマス、
テ來マシテ六「ボント」十九「シル」四「ペニ
ス」、二月ニハ、六「ボンド」十九「シル」八
「ペニス」、斯ウ云フ風ニナッテ居リマス、

○男爵鄉誠之助君 サウスルト何處ニ基準
ヲ御取リニナッタノデスカ、八十圓ト云フ
モノヲ御持ヘニナッタノデスカ、幾ラヲ御
押ヘニナッタノデスカ、ソレヲハッキリ伺ヒ
タイ、モウ一ツ陸揚費其他ヲ幾ラニ御覽ニ
ナリマシタカ、ソレヲ一方ニ伺ヒタイ、ソ
レカラ一方ニ伺フコトハ、今御話ノ通リ内地

ソレデ爲替相場モ亦換算率ガ違テ居リマ
シテ、是モズット以前基準期間ノ頃ニ、「シ
ル」一「ペニス」ト云フヤウナモノガ今日デ
ニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ之ニ付
テモ色ミ取り方ガゴザイマセウケレドモ、
先ヅ現在ノ狀況ニ照ラシテ見マシテモ、今
年ノ二月カラ以前ノ半年ヲ遡リマシテ、沖
著ノ價格ヲ平均イタシマスルト、六「ボン
ド」十八「シル」ト云フモノニナリマス、ソ
レカラ爲替換算率モ「シル」九「ペニス」餘
ニナリマス、ソレデ之ヲ邦貨ニ換算シテ見
マスルト云フト、矢張リ丁度七十九圓餘、
八十圓近クノモノニナルノデゴザイマス、
ソコデ此條竿ニ對スル十八圓ト云フ
關稅ハ一面ニハマダ生産費カ安イ物
モ出來テ來ルト云フヤウナ結果ニナッ
テ來テ、先ヅ是デ不當デナイダラウカ、
尤モ今後ノ狀況ガズト是デ沖著ガ段々安
クナリマスルシ、爲替ノ狀況「ペー」ニ近ク
ナッテ來ルト云フヤウナコトニナリマスト
云フト、多少沖著ニ變化ガゴザイマセウケ
レドモ、マダ十八圓デハイケナイト云フ時
節モ來ルカモ知レマセヌ、併シ今日ノ所デ
ハドウモ最近ダケノ安イ所ヲ取リマシテ基
準ニスルダケニ參リマセメノデ、先ヅ此位
ノ所デ宜カラウト云フ考ヘヨリ立テマシタ、
今後ノ狀況ニ依リマシテハ或ハ常設ノ調査
機關等モ出來マスルノデ、尙ホ研究ハ怠ラ
ヌ積リデゴザイマス

ノ生産費モ多少安クナフテ來テ居ル、ソレ
ケサウデゴザイマセウ、其方ハ幾ラデスカ、ソレ
其兩方ノ價格ハ始終値段變動ハアリマセウ
ナッタノデアルカ、ソレヲ伺ヒタイ
○説明員(三井米松君) 基準ト致シマシテ
ハ此十一年度上半期カラ十二年度上半期ノ
基準期間ヲ基準ニ取テ居リマス、ソレデ
約沖著價格ヲ九十圓ト見テ居リマス、サウ
致シマシテ其他ノ諸掛リヲ加ヘマシテ、
諸掛リノコトハ後カラ申上ダマスガ、諸掛
リヲ加ヘマシテ凡ソ九十九圓ト見タノデゴ
ザイマス、之ニ關稅ノ十八圓ヲ加ヘマシテ、
百十七圓斯ウ見テ居リマシテ、ソレカラ其
後ノ變化ハ先刻申上ダタ如クデ、ソレカラ
何デゴザイマス、唯今ノ諸掛リノ點ニ付テ
御答ヲ申上ダマス、諸掛リハ凡ソ八圓位
ニ見テ居リマス、是ハ色ニ取調ベマスルト
云フト、先ヅ金利デゴザイマス、金利ハ七
分、四ヶ月ト見マシテ是亦考慮イタシマシ
タ、ソレカラ船内ノ人夫賃是モ考慮イタシ
マシテ、ソレカラ保険料、ソレカラシテ船
賃、ソレカラ陸揚ダフ致シマスル純粹た費
用、ソレカラ其他商人ノ方デ通常取テ居
リマスル手數料デゴザイマス、是ハ普通ハ
一分乃至四分ト云フコトデゴザイマスケレ
ドモ、先ヅ二分位ノ所デ見テ居リマスノデ、
是等ノモノヲ合シマスルト云フト、略、八
圓ニ達スルノデゴザイマスガ、ドウモ私共ノ
シテハ色ニ此間カラ實ハ衆議院ノ方デモ御
說ガアリマシテ、尙ホ取調ベルト云テ御
答ヲシタノデゴザイマスガ、ドウモ私共ノ
方デ最近營業者ニ付キマシテ取調ベタノデ
アリマス、斯様ナ譯デゴザイマシテ、此點
ハ餘リ前ト變リハナイ、神戸ノ陸揚モ、東
京ノ方ノ陸揚モ、其點ニ於テハ變リガナイ、
是ハ確實ト存ジテ居リマス

○男爵鄉誠之助君　サウスルト基準トシテ
大正十一年カラ十二年ノ間ヲ取テ、總計
價格ガ百十七圓デアル、サウンテ一方其當
時ノ内地ノ製產高ハ先刻ハ百二十三圓ト仰
シヤッタデスカ

ルノデアリマス、先ヅ九十七圓ト云フ位ノ所ガ平均シテ相當ニアラウ、併シ九十七圓ト云フモノニハ、利益デアルトカ、償還額ト云フモノハ無論這入^{シテ}居リマセヌ、サウスルト丁度外國カラ這入^{シテ}居ル所ノモト、日本ニ於テ何等利益モ見ナケレバ、償却モ見ナイモノト、略ボ同ジ値段ニナルノデアリマスカラ、是デハ到底競爭モ堪ヘスト云フコトニナルコトデアラウト思フノデアリマス、ソレ等ニ對シテハ、ドウ云フ御考デアリマスカラ、ソレヲ伺ヒタイ。

○説明員(三井米松君) 先刻チヨット御詫ヲ申上ダヤウニ、昨今ノ事情デゴザイマスルト云フト、沖著ノ價格ガ殆ンド八十圓内外ニ低下イタシテ居リマス、相當御説ノ通リニ、モト低下イタスコトニナリハシナイカ、先ヅ平均イタシテ見マスト、八十圓内外ニナッテ居ルノデアリマス、ソレニ陸揚ノ諸掛等ヲ加ヘマスト云フト、改正案ノ開稅十八圓ヲ加ヘマスルト云フト、凡ソ百六圓位ニナリハセヌカト思フノデアリマス、私共極ク最近ノ事情ヲ調査シテ見マスト云フト、詰リコチラノ製造業者ノ、此先刻申上ダマシタ九十五圓ト言ヒマスル中ニハ、是ハマア相當ナ利益ヲ見マシテ九十五圓ト云フヤウニ我ニハ考ヘマシタノデ、尤モ是ノ少シ安イ方デゴザイマス、サウシマスト矢張リ其間ニ十圓位ノ利益ガ計上ガ出来ヤウ、尤モ十圓以下ノモノモゴザイマセウガ、先ヅザット十圓内外ノ利益ヲ舉ゲラレルデアラウ、デスカラ現在ノ狀態カラ致シマシテモ、マア其改正案ノ程度デ差支ナイダラウト云フ考ヲ有チマシタノデゴザイマス

○男爵鄉誠之助君 是ハ大變計算ノ問題ニナリマスカラシテ、少シ水掛論ニナリマスカラ、成ルベク御取調置キヲ願ヒマスガ、

○内田嘉吉君 唯今郷男爵カラ御詫ニナリ、ガ最モ根據アル調ヲ致シタ積リデアリマスガ、四百六十二ノ第六ト第七デス、線トスカ、四百六十二ノ第六ト第七デス、是ハ一割五分ノモト、日本ニ於テ何等利益モ見ナケレバ、サウスルト云フモノハ無論這入^{シテ}居リマセヌ、是ハ相當リノモト、日本ニ於テ何等利益モ見ナケレバ、サウスルト云フコトニナルコトデアラウト思フノデアリマス、ソレ等ニ對シテハ、ドウ云フ御詫ヲ申上ダヤウニ、昨今ノ事情デゴザイマスルト云フト、沖著ノ價格ガ殆ンド八十圓内外ニ低下イタシテ居リマス、相当御説ノ通リニ、モト低下イタスコトニナリハシナイカ、先ヅ平均イタシテ見マスト、八十圓内外ニナッテ居ルノデアリマス、ソレニ陸揚ノ諸掛等ヲ加ヘマスト云フト、改正案ノ開稅十八圓ヲ加ヘマスルト云フト、凡ソ百六圓位ニナリハセヌカト思フノデアリマス、私共極ク最近ノ事情ヲ調査シテ見マスルト云フト、詰リコチラノ製造業者ノ、此先刻申上ダマシタ九十五圓ト言ヒマスル中ニハ、是ハマア相當ナ利益ヲ見マシテ九十五圓ト云フヤウニ我ニハ考ヘマシタノデ、尤モ是ノ少シ安イ方デゴザイマス、サウシマスト矢張リ其間ニ十圓位ノ利益ガ計上ガ出来ヤウ、尤モ十圓以下ノモノモゴザイマセウガ、先ヅザット十圓内外ノ利益ヲ舉ゲラレルデアラウ、デスカラ現在ノ狀態カラ致シマシテモ、マア其改正案ノ程度デ差支ナイダラウト云フ考ヲ有チマシタノデゴザイマス

○内田嘉吉君 唯今郷男爵カラ御詫ニナリ、ガ最モ根據アル調ヲ致シタ積リデアリマスガ、四百六十二ノ第六ト第七デス、是ハ一割五分ノモト、日本ニ於テ何等利益モ見ナケレバ、サウスルト云フモノハ無論這入^{シテ}居リマセヌ、是ハ相當リノモト、日本ニ於テ何等利益モ見ナケレバ、サウスルト云フコトニナルコトデアラウト思フノデアリマス、ソレ等ニ對シテハ、ドウ云フ御詫ヲ申上ダヤウニ、昨今ノ事情デゴザイマスルト云フト、沖著ノ價格ガ殆ンド八十圓内外ニ低下イタシテ居リマス、相当御説ノ通リニ、モト低下イタスコトニナリハシナイカ、先ヅ平均イタシテ見マスト、八十圓内外ニナッテ居ルノデアリマス、ソレニ陸揚ノ諸掛け等ヲ加ヘマスト云フト、改正案ノ開稅十八圓ヲ加ヘマスルト云フト、凡ソ百六圓位ニナリハセヌカト思フノデアリマス、私共極ク最近ノ事情ヲ調査シテ見マスルト云フト、詰リコチラノ製造業者ノ、此先刻申上ダマシタ九十五圓ト言ヒマスル中ニハ、是ハマア相當ナ利益ヲ見マシテ九十五圓ト云フヤウニ我ニハ考ヘマシタノデ、尤モ是ノ少シ安イ方デゴザイマス、サウシマスト矢張リ其間ニ十圓位ノ利益ガ計上ガ出来ヤウ、尤モ十圓以下ノモノモゴザイマセウガ、先ヅザット十圓内外ノ利益ヲ舉ゲラレルデアラウ、デスカラ現在ノ狀態カラ致シマシテモ、マア其改正案ノ程度デ差支ナイダラウト云フ考ヲ有チマシタノデゴザイマス

○内田嘉吉君 唯今郷男爵カラ御詫ニナリ、ガ最モ根據アル調ヲ致シタ積リデアリマスガ、四百六十二ノ第六ト第七デス、是ハ一割五分ノモト、日本ニ於テ何等利益モ見ナケレバ、サウスルト云フモノハ無論這入^{シテ}居リマセヌ、是ハ相當リノモト、日本ニ於テ何等利益モ見ナケレバ、サウスルト云フコトニナルコトデアラウト思フノデアリマス、ソレ等ニ對シテハ、ドウ云フ御詫ヲ申上ダヤウニ、昨今ノ事情デゴザイマスルト云フト、沖著ノ價格ガ殆ンド八十圓内外ニ低下イタシテ居リマス、相当御説ノ通リニ、モト低下イタスコトニナリハシナイカ、先ヅ平均イタシテ見マスト、八十圓内外ニナッテ居ルノデアリマス、ソレニ陸揚ノ諸掛け等ヲ加ヘマスト云フト、改正案ノ開稅十八圓ヲ加ヘマスルト云フト、凡ソ百六圓位ニナリハセヌカト思フノデアリマス、私共極ク最近ノ事情ヲ調査シテ見マスルト云フト、詰リコチラノ製造業者ノ、此先刻申上ダマシタ九十五圓ト言ヒマスル中ニハ、是ハマア相當ナ利益ヲ見マシテ九十五圓ト云フヤウニ我ニハ考ヘマシタノデ、尤モ是ノ少シ安イ方デゴザイマス、サウシマスト矢張リ其間ニ十圓位ノ利益ガ計上ガ出来ヤウ、尤モ十圓以下ノモノモゴザイマセウガ、先ヅザット十圓内外ノ利益ヲ舉ゲラレルデアラウ、デスカラ現在ノ狀態カラ致シマシテモ、マア其改正案ノ程度デ差支ナイダラウト云フ考ヲ有チマシタノデゴザイマス

○内田嘉吉君 唯今郷男爵カラ御詫ニナリ、ガ最モ根據アル調ヲ致シタ積リデアリマスガ、四百六十二ノ第六ト第七デス、是ハ一割五分ノモト、日本ニ於テ何等利益モ見ナケレバ、サウスルト云フモノハ無論這入^{シテ}居リマセヌ、是ハ相當リノモト、日本ニ於テ何等利益モ見ナケレバ、サウスルト云フコトニナルコトデアラウト思フノデアリマス、ソレ等ニ對シテハ、ドウ云フ御詫ヲ申上ダヤウニ、昨今ノ事情デゴザイマスルト云フト、沖著ノ價格ガ殆ンド八十圓内外ニ低下イタシテ居リマス、相当御説ノ通リニ、モト低下イタスコトニナリハシナイカ、先ヅ平均イタシテ見マスト、八十圓内外ニナッテ居ルノデアリマス、ソレニ陸揚ノ諸掛け等ヲ加ヘマスト云フト、改正案ノ開稅十八圓ヲ加ヘマスルト云フト、凡ソ百六圓位ニナリハセヌカト思フノデアリマス、私共極ク最近ノ事情ヲ調査シテ見マスルト云フト、詰リコチラノ製造業者ノ、此先刻申上ダマシタ九十五圓ト言ヒマスル中ニハ、是ハマア相當ナ利益ヲ見マシテ九十五圓ト云フヤウニ我ニハ考ヘマシタノデ、尤モ是ノ少シ安イ方デゴザイマス、サウシマスト矢張リ其間ニ十圓位ノ利益ガ計上ガ出来ヤウ、尤モ十圓以下ノモノモゴザイマセウガ、先ヅザット十圓内外ノ利益ヲ舉ゲラレルデアラウ、デスカラ現在ノ狀態カラ致シマシテモ、マア其改正案ノ程度デ差支ナイダラウト云フ考ヲ有チマシタノデゴザイマス

○内田嘉吉君 唯今郷男爵カラ御詫ニナリ、ガ最モ根據アル調ヲ致シタ積リデアリマスガ、四百六十二ノ第六ト第七デス、是ハ一割五分ノモト、日本ニ於テ何等利益モ見ナケレバ、サウスルト云フモノハ無論這入^{シテ}居リマセヌ、是ハ相當リノモト、日本ニ於テ何等利益モ見ナケレバ、サウスルト云フコトニナルコトデアラウト思フノデアリマス、ソレ等ニ對シテハ、ドウ云フ御詫ヲ申上ダヤウニ、昨今ノ事情デゴザイマスルト云フト、沖著ノ價格ガ殆ンド八十圓内外ニ低下イタシテ居リマス、相当御説ノ通リニ、モト低下イタスコトニナリハシナイカ、先ヅ平均イタシテ見マスト、八十圓内外ニナッテ居ルノデアリマス、ソレニ陸揚ノ諸掛け等ヲ加ヘマスト云フト、改正案ノ開稅十八圓ヲ加ヘマスルト云フト、凡ソ百六圓位ニナリハセヌカト思フノデアリマス、私共極ク最近ノ事情ヲ調査シテ見マスルト云フト、詰リコチラノ製造業者ノ、此先刻申上ダマシタ九十五圓ト言ヒマスル中ニハ、是ハマア相當ナ利益ヲ見マシテ九十五圓ト云フヤウニ我ニハ考ヘマシタノデ、尤モ是ノ少シ安イ方デゴザイマス、サウシマスト矢張リ其間ニ十圓位ノ利益ガ計上ガ出来ヤウ、尤モ十圓以下ノモノモゴザイマセウガ、先ヅザット十圓内外ノ利益ヲ舉ゲラレルデアラウ、デスカラ現在ノ狀態カラ致シマシテモ、マア其改正案ノ程度デ差支ナイダラウト云フ考ヲ有チマシタノデゴザイマス

○内田嘉吉君 唯今郷男爵カラ御詫ニナリ、ガ最モ根據アル調ヲ致シタ積リデアリマスガ、四百六十二ノ第六ト第七デス、是ハ一割五分ノモト、日本ニ於テ何等利益モ見ナケレバ、サウスルト云フモノハ無論這入^{シテ}居リマセヌ、是ハ相當リノモト、日本ニ於テ何等利益モ見ナケレバ、サウスルト云フコトニナルコトデアラウト思フノデアリマス、ソレ等ニ對シテハ、ドウ云フ御詫ヲ申上ダヤウニ、昨今ノ事情デゴザイマスルト云フト、沖著ノ價格ガ殆ンド八十圓内外ニ低下イタシテ居リマス、相当御説ノ通リニ、モト低下イタスコトニナリハシナイカ、先ヅ平均イタシテ見マスト、八十圓内外ニナッテ居ルノデアリマス、ソレニ陸揚ノ諸掛け等ヲ加ヘマスト云フト、改正案ノ開稅十八圓ヲ加ヘマスルト云フト、凡ソ百六圓位ニナリハセヌカト思フノデアリマス、私共極ク最近ノ事情ヲ調査シテ見マスルト云フト、詰リコチラノ製造業者ノ、此先刻申上ダマシタ九十五圓ト言ヒマスル中ニハ、是ハマア相當ナ利益ヲ見マシテ九十五圓ト云フヤウニ我ニハ考ヘマシタノデ、尤モ是ノ少シ安イ方デゴザイマス、サウシマスト矢張リ其間ニ十圓位ノ利益ガ計上ガ出来ヤウ、尤モ十圓以下ノモノモゴザイマセウガ、先ヅザット十圓内外ノ利益ヲ舉ゲラレルデアラウ、デスカラ現在ノ狀態カラ致シマシテモ、マア其改正案ノ程度デ差支ナイダラウト云フ考ヲ有チマシタノデゴザイマス

○男爵東郷安君　其次ハ四百六十四ノ銅ニ付テ極メテ大體ノコトヲ伺ヒマス、私ハ前カラ銅ニ付テハ種々關稅保護ノ非ナル點申上ゲル譯デアリマスガ、極ク簡單ニ申上ゲタイ、ソレハ要スルニ我國ノ產銅業ハ、遂次生産費並ニ天然資源ノ缺乏ニ因シテ外國ノ銅ト競争困難ニナッタ、而モ其標準デアツタ米國ノ產銅業者スラ最近ニ於テハ智利ノ銅ノ爲ニ著シク魯威ヲ感ジテ居ル、彼等モ亦關稅ニ依シテ自國ノ銅ヲ保護サレナケレバナラヌト云フヤウナ時代ニ立至ツテ居ル以上ハ、結局今日ノヤウニ當分ノ内ト云フ文字ヲ除カレテ永遠ノ制度ニナサレテモ又暮年ナラズシテ當業者、即チ產銅業者ノ希望ニ動カサレテ當局ハ更ニ高率ノ稅ヲ當分ノ内ト云フ名目ヲ藉リテ、又其次ノ機會ニ於テハ當分ノ内フ止メテ更ニ高率ノモノヲ課稅サレルト云フコトハ理窟ヲ推シテ行ケバサウ云フコトニナル、一體サウナレバ日本ノ銅ト云フモノノ產業ハドウナサルノカト云フコトガ伺ヒタイノデアリマス、世界ノ趨勢、天然資源ノ乏シイ我國ニ於テ此仕事ヲ結局國策トシテハ何處迄徹底のノ保護ヲスルナラバ一面内地ノ消費者ノ負擔ノコトヲ考ヘ、又一面基礎工業等デアルト云フ上カラ考ヘテ見テ、實ニ我と國民トシテハ惑ハザルヲ得ナイ譯デアリマス、當局トシテモ定メシ此點ニ付テハ多年ノ御苦心ガアラウト思ヒマスガ、現在我國ノ產銅業ヲドウ云フ風ニ持テ行キマスカト云フ御方イ、斯ウ云フ次第デアリマス

モ豊富ナ原料ヲ入レテ居ルヤウナ狀態ニナツテ來テ居リマス、ソレガ爲ニ非常ニ安イモノガ這入テ參リマスルノデ、銅工業者ハ困テ居ルノデアリマス、大體ノ趨勢ヲ見テ見マスルト、戰爭中亞米利加ニ於ケル滯銅ト云フモノガ相當ニアリマシテ、ソレ等ノ滯銅ト生產ノ歩合ハ既ニ亞米利加ニ於テモ問題トナリ、漸次是ガ少クナッテ行キ居ル、從^フテ生產ノアル場合ニ加減ヲシテ、殖ヤストカ或ハ之ヲ少クスルト云フヤウナ加減ヲ取^フテ居^フタヤウデアリマスガ、一般カラ申シマスルト、滯銅モ段々減^フテ行クト云フヤウナ趨勢ニナツテ居リマスノデ、此大規模ノ銅工業ニ對シマシテノ競爭ハ固ヨリ容易デアリマセヌガ、本邦ニ於キマシテノ銅工業モ此非常ナル試煉ニ會ヒマシテ、極力生產費ヲ少クスルコトニ努力イタシテ居リマスルシ、亞米利加ニ於ケル銅ガ或ル點マデ、滯銅ガ少クナリマシテ、其價格上云フモノガ安定スルヤウニナツテ參リマスコトモ近キ將來ニ望ミ得ラレルコトト考ヘマス、暫ク形勢ヲ見シケレバナリマセヌケレドモ、先ツ大體ノ方針ト致シマシテハ、今日銅工業者ガ十分ニ節約イタシマシタ所erde、尙ホ生產費ニ於キマシテハマダ^一七圓以上ノ開キヲ外國ト持^フテ居ルヤウナ狀況ニアリマスノデ、之ヲ本法ニ組入レマシテ、是デ以テ保護シテ行キ、一面ニ於キマシテハ尙ホ銅工業ノ精練ノ方法、其他總^フテノ方法ニ付キマシテモ、極力生產費ノ減少ヲ圖^フテ行カセルト云フ方法フ以テ行ク外ナイト思^フテ居リマス、尙ホ細カナコトニ付キマシテハ他ノ委員カラ申上ダマス
○男爵東郷安君 私ハ唯今ノ御説明ノ所ヲアリマス、即チ假リニ亞米利加邊ガ關稅デ保護セラレルヤウナ形勢ニナリマスレバ、

智利銅ガ東洋方面ニ出ルト云フコトハ火ヲ見ルヨリ明カデアル、其場合ニ七圓ノ關稅方針ニ付テハ國策トシテ相當腹ヲ極メテ置カレテ、ドコヽマデモ保護スルノダ、若クハソレニ至ルマデニ内地ノ銅工業者ニ對シテ種々ナル改良施設ヲサセルト云フコトノ御方針ヲ、成ルベク早ク御立テ下サラムコトヲ希望スル、是ハ種々ノ意味ニ於テ加工業者其他ニ影響ガ大キイ、又國防上カラモ考慮シナケレバナラヌコトデ、ソレヲ實ハ此際希望イタシテ置キマス、是カラ先ハ強ヒテ此點ニ付テハ申上ダナイノデアリマス

ニ有益ナル品物デアリマスガ、日本デ澤山
生産ガ出來ルト云フ物ハ非常ナ下級品ガ多
イヤウニ承知イタシテ居リマス、例ヘバ風
呂屋ノ煙突ニ使フヤウナモノハ、下級品デ
ドコニデモアンナモノハ澤山ヤッテ居リマ
ス、ア、云フモノハ非常ニ保護セラレマス
ケレドモ、上級品ニ付テハ從量稅デ毎百斤
五圓五十錢ト云フコトニナルト一向保護セ
ラレメヤウニ思ヒマスガ、此點ハ何カ特別
ナ、斯ウ云フ風ニ現行ガ從價稅デアルノ
ヲ、五圓五十錢ノ從量稅ニ直シニナツタ特別
ノ理由ガアルノデスカ

イタスノニハ、從量稅ノ方ガ宜シト認メ
タノデアリマス、現在此物ニ付キマシテノ
敵ハ獨逸ノ安物デアッテ、内地ニ於テ出来
マスル普通品ニ對シテハ、ソレヲ曰ザシテ
稅率ヲ定メル方ガ至當ナリト認メラレルノ
デ、茲ニ從量稅ガ定メラレタ場合ニハ、ソ
レ等ノ物ヲ防キマシテ、内地ノ事業ニ對シ
テハ却テ便宜デアラウト考ヘマス、唯今
ノ御話ノ如ク下等品ニ對シテハ稍輕ク當ル
譯デスガ、又内地ニ於テモ出來ナイ品物モ
ゴザイマスノデ、消費ノ側モ考ヘネバナリ
マセヌシ、ソレヤ是ヤデ至當ト認メマシタ
譯デアリマス

地ニ於テ造ルヤウニ助長シナケレバナラヌト云フコトノアッタコトモ承知シテ居リマスガ、今ノヤウニ直シテジマヒマスト、高級品ハ或ハ外國品ト競争ガ出来ナイコトニ立至ルデアラウト思フ、ソレデ御等ネシタノデアリマステレドモ、サウニ云フ物ハ出来ナイト認メル、出以ナイ出来ルト云フノハ見込デスケレドモ從來二割デアッタナラバ矢張リ從價二割ニシテ置イタ方ガ宜クハナカト思テ質問シタノデアリマス、併シテソレ以上ハ意見ニナルカモ知レマセヌガ、政府ノ御考デハ、高級品ハ別段保護セヌデモ宜イ、消費者關係ダケデアルカラト云フ、ソレダケノ簡單ナ理由デ、從來從價デアッタモノヲ從量ニ直シタ、斯ウニ云フ風ニ了解シテ宜シイノデスカ

○政府委員(矢部規矩治君) 多少私ノ言葉ニ足リナイン所ガアリマシテ、行違ガアリマシテゴザイマスガ、高級品ニ對シテハ廉キニ過ギルト申上ゲマシタノデハナインデアリマシテ、從價ノ二割三分ノ程度ニ上ダテ從量稅ニシタノデ、下等品ニ對シテハ相當強ク當ル、上等品ニハ柔ラカク、輕ク當ルト斯ウシマシタノデ、上等品ノ生產ヲ顧ミナイ譯デハナインデアリマシテ、御承知ノ如ク私が申ス迄モナク「テンサイル・ストレングス」ノ最モ強イ物ヲ貴ブ、若シ是ガ弱ケレバ用ニ立タヌト云フコトデアリマス、「テンサイル・ストレングス」ガ非常ニ強イ物ニナリマスト、尙ホ内地ノ生產ヲ以テシテハ不十分ナリトル所ダゴザイマスノデ、消費ノ側モ矢張リ顧慮シナケレバナラヌ、二割三分ガ確實ニソレ等ニ當リマスト、相當ヒドク引上グラレルコナラバ、從量稅ニ直シテ差支ナイモノト認メマシタ

○男爵斯波忠三郎君 今高級品ノ價格ハド
ノ位ニナシテ居リマスカ、今「テンサイル・ス
トレングス」ト仰シャイマシタガ抗張力…
抗張力ノ極ク高イノハ百斤幾ラ位ノ値段ニ
ナシテ居リマスカ

○政府委員(矢部規矩治君) 唯今専門ノ方
ニ伺ヒマシタラ、書類ヲ見マスト分リマス
ガ、早ク御答スル爲ニ概略ヲ申シマスト、
高級品ハ百斤四十圓、五十圓テ其平均十九
圓ナニガシト云フ所カラ出テ居リマス
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 御質問ガナイ
ヤウデゴザイマスカラ、第十五類ニ移リタ
イト思ヒマスガマダ御質問ガゴザイマスカ
○男爵東郷安君 アリマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 東郷君

○男爵東郷安君 四百六十五ノ鉛ノ三ノ茶
鉛、之ニ付テチヨント伺ヒタイデスガ、茶
鉛ハ日本デハ相當生産ヲスルノデアリマス、
デ今回政府ガ矢張リ無稅ニ据エ置カレマシ
タノハ、單ニ輸出茶ノ包裝用ノミニ用ヒラ
レルトシテ、或ハ無稅據置ニ極マタノデア
ルカトモ思ハレマスケレドモ、其他煙草ト
カ羅紗、燐寸等ノ包裝用ニモ使用セラレテ
居シテ、決シテ輸出茶ノミニ使ハレテ居ラ
ナイ、デ此茶粉ノ製造工場ハ相當ニ我國デ
モ發達シテ、將來發達ノ見込ノアル工業デ
アリマス、且ニ一面本法第九條第二項ノ改
正案ニハ、輸入ノ原料ヲ以テ茶鉛ヲ造り之
ヲ輸出シタ場合ニ於テハ輸入稅ノ全部又ハ
一部ノ免除又ハ戻稅ヲナスト云フコトガ規
定サレテ居ル、輸出貨物以外ニ使用シタ時
ニハ此特典ニハ浴セナイト云フ原則ニナシ
テ居ルノデアリマスガ、實際茶鉛ハ亞米利
加カラ無稅デ輸入シテ、盛ニ之ヲ日本ノ
他ノ事業ニモ利用シテ居ルノデアリマス、
サウ致シマスト日本ノ茶鉛製造工業ト云フ

コトデアリマスカラ、從テ之ヲ無税トセズ
有税トシテ、サウシテ輸出用ニ供シタモノ
ニハ戻税制度ヲ設ケルト云フコトニ改正サ
レルノガ適當ナコトデナカラウカト思ヒマ
ス、其邊ハドウ云フ御所見デゴザイマスカ
ニハ戻税制度ヲ設ケルト云フコトニ改正サ
○政府委員(矢部規矩治君) 茶鉛ハ御承知
ノ如ク鉛ヲ薄ク平ラニ伸バシタモノデアリ
マシテ、主トシテ輸出茶ノ包装ニ供セラレ
ル物デアリマス、ソレ故ニ古クカラ日本ノ
制度ニ於テハ無税ニ致シマシテ、輸出茶ノ
包装ヲ便利ニシテ、輸出茶ニ支障ヲ與ヘナ
イヤウニシテ參リマシタヤウナ譯デゴザイ
マス、近來茶鉛ガ内地ニ出來ルコトニナ
リマシタノハ御話ノ如クデアリマシテ、是
等ニ付テハ相當ニ議論ヲ致シマシタ、併ナ
ガラ輸出茶ト云フモノハ亞米利加ガ重ナル
得意デアリマシテ、之ニ對スル競争ハ頗ル
激甚デアリマシテ、當業者ハ販路ヲ擴張ス
ルト云フコトニ付テ非常ニ努力シテ居ル、
又政府ニ於キマシテモ注意ヲ加ヘテ居ルノ
デアリマシテ、茶鉛ヲ保護スル爲ニ稅ヲ掛
ケマスト云フコトハ、輸出茶ニソレダケ重ナル
キ負擔ヲ負ハセルト云フコトニナル、大體
カラ見マスルト輸入ニ對シテハ成ルベク裸
ニシテ負擔ヲ輕クスルト云フコトが趣旨デ
ゴザイマシテ、第九條ニ規定ガアリマス如
キ性質ノ物ハ、出來ルダケ、外國ニ輸出ス
ル物ニ對シマシテハ、戻税ナリ免稅ナリヲ
致シテ居ルヤウナ譯デゴザイマス、若シ之
ニ稅ヲ掛けマシタ所ガ外國ヘ出マスル時分
ニ免稅ヲ致スト云フコトニナルト、最モ需
要ノ多イ用途ニ對シテ免稅ヲスルト云フコ
トニナルノデアリマシテ、矢張リ目的ヲ達
シナイト云フコトニナリマス、ソレ故ニ御
モ、大體ノ用途カラ見マシテ、是ハ外國ヘ
殆ンド總テガ出ルモノト看做シマシテ、無

税ト云フコトニシタト云フヤウナ譯デアリ
マス、併シ内地ノ茶鉛ノ製造ヲ顧ミナイト
云フ譯デハアリマセヌデ、只今御話ノ如ク
第九條ニ規定ヲ致シマシテ、輸入原料品ニ
付ケ茶鉛ヲ製造イタシタ場合ニモ、此輸
入税ノ全部若クハ一部ヲ戻スト云フコト
ニ致シテ居ル、是ハ私聞キ間違ヒカモ知レ
マセヌケレドモ、外國ニ輸出シタ場合ニト
云フ御話ガゴザイマシタク、此茶鉛ニ對シ
テハ、輸出茶鉛ニモ輸入税ハ既ニ無税デゴ
ザイマスカラシテ、内地ニ於キマシテ外國
カラ入レタ鉛ヲ以テ茶鉛ヲ製造スレバ、其
原料ニ對スル税金ハ輸出シナクテモ戻シテ
ヤルト云フコトヲ、第九條ニ於テ規定イタ
シマシテ、此製造ト云フモノヲ成ルベク助
成イタスヤウニ致シマシタ

○男爵東郷安君 鉛ト亞鉛ノ屑及故ガ現行

デ据置ニナシテ居リマスガ、是ハ銅トノ場

合ニ比較シマシテ其均衡ヲ失スル嫌ヒガア

ルト云フ點ニ付テハ、ドウ云フ御所見デゴ

ザイマスカ

○政府委員(矢部規矩治君) 鉛ハ内地ニ於

テ多少ノ生産ガゴザイマスノデゴザイマス

ガ、一方需要ガ非常ニ多イ所カラシテ、輸

入ガ相當ニ多イノデアリマス、此税率ト云

ノデゴザイマシテ、現在四十錢ト云フ税率

ヲ掛ケテ居ル、内地ノ鉛ノ鑄産ヲ保護セム

トスルニハ、是等ノ税率ヲ引上げナクテハ

ナラヌト思ヒマスガ、先づ用途ニ鑑ミマシテ

四十錢ト云フ税率ヲ此處ニ掲ゲテアリマ

ス、此税率ニ付キマシテハ取拂ノ希望モゴ

ザイマスガ、何分内地ニ於テ鑄産ガアル以

上、之ヲ取拂フト云フコトハ出來ナイノデ

アリマス、斯様ナ譯デゴザイマシテ、四十

錢ニ對スル無税ト云フノハ均衡ヲ得タモノ

ト見テ居リマスノデアリマス、併ナガラ銅

ニナリマスト云フト、是ハ全ク異ナリマシ

テ、銅ト云フモノハ非常ニ大キナ、銅鑄山

カラ入レタ鉛ヲ以テ茶鉛ヲ製造スレバ、其

原料ニ對スル税金ハ輸出シナクテモ戻シテ

ヤルト云フコトヲ、第九條ニ於テ規定イタ

シマシテ、此製造ト云フモノヲ成ルベク助

成イタスヤウニ致シマシタ

○男爵東郷安君 鉛ト亞鉛ノ屑及故ガ現行

デ据置ニナシテ居リマスガ、是ハ銅トノ場

合ニ比較シマシテ其均衡ヲ失スル嫌ヒガア

ルト云フ點ニ付テハ、ドウ云フ御所見デゴ

ザイマスカ

○政府委員(矢部規矩治君) 鉛ハ内地ニ於

テ多少ノ生産ガゴザイマスノデゴザイマス

ガ、一方需要ガ非常ニ多イ所カラシテ、輸

入ガ相當ニ多イノデアリマス、此税率ト云

ノデゴザイマシテ、現在四十錢ト云フ税率

ヲ掛ケテ居ル、内地ノ鉛ノ鑄産ヲ保護セム

トスルニハ、是等ノ税率ヲ引上げナクテハ

ナラヌト思ヒマスガ、先づ用途ニ鑑ミマシテ

四十錢ト云フ税率ヲ此處ニ掲ゲテアリマ

ス、此税率ニ付キマシテハ取拂ノ希望モゴ

ザイマスガ、何分内地ニ於テ鑄産ガアル以

上、之ヲ取拂フト云フコトハ出來ナイノデ

アリマス、斯様ナ譯デゴザイマシテ、四十

錢ニ對スル無税ト云フノハ均衡ヲ得タモノ

ト見テ居リマスノデアリマス、併ナガラ銅

ニナリマスト云フト、是ハ全ク異ナリマシ

テ、銅ト云フモノハ非常ニ大キナ、銅鑄山

カラ入レタ鉛ヲ以テ茶鉛ヲ製造スレバ、其

原料ニ對スル税金ハ輸出シナクテモ戻シテ

ヤルト云フコトヲ、第九條ニ於テ規定イタ

シマシテ、此製造ト云フモノヲ成ルベク助

成イタスヤウニ致シマシタ

○男爵斯波忠三郎君 四百七十三、鎮デア

リマス、是ハ金銀ノ鐵モ真鍮ノ鐵モ皆區別

ナシデ、每百斤七圓三十錢トナシテ居リマ

スガ、鐵ト云フノハ何デアリマスカ

○男爵斯波忠三郎君 只今御話ノ如

ク總テノ鐵ヲ包含イタシマス

○男爵斯波忠三郎君 金銀ノ鐵、例へバ金

ノ鐵ト真鍮ノ鐵ト價格ニ大變差ガアラウト

思ヒマスガ、ドノ位ノ程度ノモノデアリマ

スカ

○政府委員(矢部規矩治君) 此鐵ノ税率ハ

リマス、十五類……ゴザイマセヌカ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 第十五類ニ移

六類ニ移リマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 第十五類ニ移

六類ニ移リマス

〔ゴザイマセヌト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ第十

六類ニ移リマス

○稻畠勝太郎君 紡績機ノコトニ付イテ御

質問シタインデスカ如何デゴザイマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 宜シウゴザイ

マス

○稻畠勝太郎君 第二ニ御質問申上ダタイ

所カラシテ、僅ノ輸入ニ止マシテ居ルノデ

ゴザイマシテ、斯様ナ税率ノ下ニ於キマシ

テ、内地ノ盤陀其他ノ鐵ヲ作ル事業ト云フ

モノハ、影響ヲ受ケテ居ナイモノト見テ居

リマス

○男爵斯波忠三郎君 金屬工業ニ對シテ非

常ニ必要ナモノダト云フコトデアリマス

ガ、這鑰ノ鐵ノ如キ、盤陀ノ鐵ノ如キモ、

是等ノモノモ必需品デアリマス、然ルニ金

銀ノ鐵ト云フヤウナモノガ、若シ此中ニ這

ニハ、屑ニモ相當ノ稅ヲ設ケルト云フノデ、

屑ニ對シテモ七圓ト云フ稅ヲ設ケテ居ルノ

ケテ居ルノデアリマス、此塊及錠ニ對シテ

七圓ト云フ大キナ稅ニ權衡ヲ得セシムル爲

ニハ、屑ニモ相當ノ稅ヲ設ケルト云フノデ、

屑ニ對シテモ七圓ト云フ稅ヲ設ケテ居ルノ

ケテ居ルノデアリマス、此塊及錠ニ對シテ

七圓ト云フ大キナ稅ニ權衡ヲ得セシムル爲

ノ勞働者ニ職業ヲ他ニ求メテヤラナケレバ

ナラヌト云フコトニナリマス、又今マデ投

ジタ資本モ無駄ニシナケレバナラヌト云フ

所カラ、七圓ト云フ重大ナル稅ヲ此處ニ掛

ケテ居ルノデアリマス、此塊及錠ニ對シテ

七圓ト云フ大キナ稅ニ權衡ヲ得セシムル爲

又、先づ部分品ノ製造力發達シマスルモノヲ待テ、初メテ關稅保護ニ依テ其機械製造業ノ獨立ヲ計ルト云フノガ順序ヲ踏マナケレバ、徒ラニ、機械ノ使用者タル紡績業者ヲ苦メルニ過ギナインデアラウト思ヒマスルガ、此點ニ關シテ、政府ハドウ云フオ考デアリマスルカ、オ尋不致シタイノデアリマス、次ニ第四ハデス、近來我國ノ紡績會社ハ、世界的ノ趨勢ニ鑑ミマシテ、人造絹絲ノ製造ヲ研究スルコトニ將來ナツテ參リマスルガ、此人造絹絲ノ製造機械ハ皆外國カラ輸入シテ居ルノデアリマス、然ルニ此ノ輸入ニ際シマシテ、稅關ノ係員ニ依テ、取扱ヲバ區々ニサレテアリマス、或ハ稅番第五百九十七號ノ紡織機械トシテ、現在ナラバ、每百斤四圓十五錢ノ課稅デゴザイマスガ、他ノ場合デハ稅番第六百四號、即チ別號ニ揚ダザル機械ト云フ中ニ入レテ、從價ノ二割ヲ今實際ニ課シテ居ル、是ハ讀ミ方ニ依テ御見解ガ違フヤウデアリマスガ、是ハ當業者ト致シマシテ迷惑ナルコトデゴザイマスルカラ、今後人造絹絲ト云フモノノガ段々發達シ、機械ノ輸入ガ殖エテ參リマスノデアリマスルカラ、稅番第五百九十七號ニ依テ課稅スルト云フコトニ一定セラレムコトヲ希望スルノデアリマス、此人造絹絲ノ機械ノ稅率ガ輸入港ニ依テ御見解ガ違フト云フコトハ、當業者ハ迷惑シマスルカラ、此點ニ付テ政府ノ御意見ヲ伺ヒタリ、ソレカラ紡績機械ノ次ニ莫大小機械、稅番第六百號、之ニ付テ質問ヲ致シタイノデスガ、莫大小ノ製造機械モ紡績機械ト同様、優良ナル機械ハ舶來品ニ俟ツノ外ハナインデス、其製品タルヤ莫大小ノ支那其他市場ニ於キマシテノ列國間ノ競争ガ非常ニ猛烈デアリマシテ、近年ハ又支那自カラ

ノ市場マデモ支那ノ製造品ニ侵サレツ、ア
ル状況デアリマスル、然ルニ其製造機械ノ
税率ヲ：：製造ニ必要ナル機械ノ税率ヲ、
即チ約倍額、又ハ其以上ニ上ゲテ、此優良
ナル機械ノ輸入ヲ困難ナラシムルト云フコ
トハ畢竟我ガ國ノ莫大小製造業ヲ衰滅ニ導
クモノト思ハレルノデアリマシテ、政府ハ
此點ニ付テドウ云フ御考デアリマスカ、伺
ヒタイノデス

○政府委員(矢部規矩治君) 人造絹絲ヲ製
造イタシマス機械ニ於テ、稅ノ適用ニ付キ
マシテ御答ヲ致シタイト思ヒマス、其他ハ
當局ノ方カラ御答イタシマス、人造絹絲ノ
製造ハ、普通ノ紡績ノ事業トハ全ク方法ヲ
異ニシテ居リマシテ、手續モ違^フテ居リマ
ス、寧口化學工業トモ云フヤウナ事業ニ屬
シテ居リマスルコトアリマシテ、其機械
ハ六百四號ノ別號ニ掲ダザル機械ト致シマ
シテ、從價一割ヲ課稅スルト云フコトニナ
テ居リマス、併シ其出來タモノニ撲^フヨ縣
ケルトカ、或ハ絲ヲ作ルトカ云フモノニナ
リマスト云フト、是ハ普通ノ撲絲機械ト致
シマシテ、五百九十七號ニ依ルモノモ多少
アラウカト思ヒマス、ソレデ斯様ニ規定イ
タシテ居ルノデゴザイマスガ、偶^フ或ハ甚
關ニ於キマシテ課稅カ統一サレナイ點ダ
マシテ、綿絲布ノ我國ニ於ケル非常ニ重要
ナル點ニ鑑ミマシテ、此點ニハ深ク考慮ヲ
見込ミデアリマス

○政府委員(宮内國太郎君) 只今紡績機械
ニ付テノ御尋デゴザイマス、紡績機械ハ申
ス迄モナク綿絲布ノ基ヲナス機械デゴザイ
マシテ、綿絲布ノ我國ニ於ケル非常ニ重要
ナル點ニ鑑ミマシテ、此點ニハ深ク考慮ヲ

ト致シマシテ、我國ニ於テ出來ルカト云フ
御話デゴザイマシタノデアリマスガ、大體
ノ生産ノ狀況ヲ申上マスルト、準備機及ビ
仕上ノ工程ニ屬スルモノハ、久シキ以前ニ
於テ發達シテ居タノデアリマスケレドモ、
其中樞ノ機械デアリマスル、粗紡機及ビ精
紡機ノ製造ト云フモノハ、御承知ノ通り大戰
前後ノ發達ニ係テ居ルノデアリマス、サ
ウ致シマシテ一二臺位補充用トシテ造ラテ
居リマスルモノハアッタノゴザイマスルケ
レドモガ、全部ニ互ダテ一揃ヘト致シマシ
テ「ワン・プラン」トシテ製造シタモノハ、豊
田式織機株式會社デゴザイマス、是ハ御
言葉ノ中ニモゴザリマシタノデゴザイマス
ガ、是ハ既ニ一聯ノ機械ヲ造リマシテ、ソ
レヲ賣リマシタノハ御承知ノ通り和泉紡績
株式會社六千錘、上海紡績株式會社、同興
紡績株式會社、大阪合同紡績株式會社、小
松島及今治ノ紡績株式會社六万錘程ノ供給
ヲシテ居ルノデアリマス、其結果ヲ見マス
ルト、一聯ノ機械ハ支障ナク運轉ヲ致シテ
居ルノデアリマス、假リニ三万錘ヲツノ
「エニット」ト致シマスルト云フト、九十九
臺ヅ、ノ機械ガ入用デゴザイマスガ、ソレ
ラガ一聯ト致シマシテ支障ナク運轉イタシ
テ居ルノデゴザイマス、最近ニ於キマシテ
ハ又東洋紡績株式會社ノ註文品ノ引受ヲ致
シタノデアリマス、其外一臺ノ註文引受ト
云フコトニ致シマシテハ、非常ニ製造ガ困
難トセラレテ居タ「スラッピングフレー
ム」「リングスピニングフレーム」ト云フ
ヤウナモノモ、是モ富士瓦斯紡績ニ供給ヲ
致シテ居リマス、其他ノ「ロービングフレー
ム」ト云フヤウナモノモ東洋紡績、富士瓦
斯紡績ト云フヤウナ所ニ供給シテ居ル、ソ
レカラ「ドロウインクフレーム」「カーディ

後復舊用トシテ多數製造イタシテ居ルノデ
ゴザイマス、其他ノ機械ヲ織紡其他ノ多數
ノ紡績會社ニ供給イタシテ居ルノデアリマ
ス、此紡績機械ニ於キマシテ中樞ヲ成ス最
モ難カシイモノハ其製作ノ上ニ於キマシテ
餘程困難ガアルト云フコトハ、御水知ノ通
リデアリマス、之ニ付マシテ豊田式織機株式
會社ハ數十万圓ノ犠牲ヲ拂ヒマシテ、サウ
シテ今日多數ノ研究費ヲ損失イタシマシ
テ、今日ニ於テ其成功ヲ致シタノデゴザイ
マス、第一ノ御尋ト致シマシテ「出來ルカ」
ト云フコトデゴザイマスガ、是ハ出來ルト
云フコトヲ申上ダテモ宜シイノデアリマ
ス、尙ホ御尋ガゴザイマスレバ其點ニ付キ
マシテ、説明員トシテ技術官ガ居リマスカラ
テ、御尋ニ應ジマシテ御説明申上ダマスデ
ゴザイマス、左様ニ致シマシテ急ニ發達スルカ
ドウカト云フ御尋デゴザイマスガ、是モ今日
ニ於キマシテハ、御承知ノ通リニ新川ノ工場
ニ於キマシテ既ニ年額六万錘程ノ工場ガアリ
ルノデゴザイマス、是ハ漸次ニ擴張イタシ
テ承リマスレバ、其全部ノ需要ニ應ズルコ
トハ出來ルダラウト考ヘテ居リマス、左様
ナ次第デゴザイマシテ、急ニ發達スル、關
稅ヲ課ケテ直グニ、紡績ノ機械ガ直グニ出
來ルト云フコトハソレハ申上ルコトハ出來
マセヌケレドモ、斯様ニ致シマシテ技術上
非常ニ困難ナル各種ノ械械ノ部分ニ付キマ
シテ、非常ナル困難ナ譯デアリマシテ、ソレ
ヲ調和スル上ニ於テモ困難ナ譯デアリマス
カラ、之ヲ一聯トシテ斯ノ如ク拵ヘテ、此
困難犠牲ト云フモノニ對シテ、又將來ニ於
キマシテ之ヲ助長發達セシメテ行クト云フモ
ノ工業タル此紡績ノ工業ト云フモノハ、相

當國家トシテ保護スル必要ガアルト、斯様ニ考ヘテ居ル、第三ノ御尋ハ部分品ノ製造、ソレガ我國ニ於テ出來ルカドウカト云フ御尋デアリマス、是モ御尤モデアリマシテ、既ニソレハ徐々ニ道程ヲ辿リゾ、アルノデアリマス、紡績ノ輸入品ノ「スラッビングフーム」ノ如キ其他ノ部分ニ於テ、今日ニ於テハ出來ルト考ヘテ居ルノデアリマス、御尋ネノヤウナ道程ヲ踏ミマシテ今日ニ於テ既ニ發達ヲ致シテ來テ居ル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、或ハ急ニ發達スルコトハ出來ナイト云フヤウナモノニ對シマシテ、高率ノ税率ヲ以テ臨ムト云フコトハイケナイト云フ御詫モゴザイマシタガ、今日ニ於テノ税率ハ四圓十五錢デゴザイマシテ、六分程度ニ當ンテ居リマス、今度引上ゲマシタノハ一割デアリマシテ、四分程度ノ取扱デゴザイマス、他ノ機械等ハ或ハ一割五分ヨリ致シマシテ其方ノ必要ト致シマスルモノニ付キマシテハ、一割八分或ハ二割、或ハ二割ヲ超エ居ルモノモゴザイマス、併ナガラ御話ノ如クニ、是ハ非常ニ重要ナル機械デゴザイマスルカラシテ、其點ヲ考慮イタシマシテ一割ニ止メタ次第アリマス、併ナガラ一割ニ止メマシタガ爲ニ却ゾテ中途半端ノモノニナリマセんカト云フヤウナ御尋モ、御疑ヒモアルカモ存ジマセヌガ、是ハ生産費等モ考ヘマシテ、將來大量ニ製產スル場合モ考ヘマシテ、此程度ノ保護ヲ以テ對シマスコトガ事業ノ確實ヲ期スル所トガ出來ルダラウト考ヘテ居リマス、其消費方面ニ及ボス影響モ、之モ慎重ニ考ヘタノデゴザイマスガ、第一ニ新關稅ヲ適用イタシマシタ紡績機械ノミニ依テ紡ニモドレダケノ影響ヲ及ボスカ、新關稅ノ適用ニ依リマシテ、新關稅ノ適用セラレタ方

ノ紡機ノミデ紡績ヲ致シマシタ場合ニ於ケル綿絲ノ價格ニ如何ナル影響ヲ及ボスカトトシマシテ、其初年ニ於キマシテ最モ多ク、云フコトヲ考ヘテ見マスト、ソレハ關稅ノ爾後年々遞減スルモノトシテ考ヘテ見マスルト、初年度分ト致シマシテハ二十手ノ毛ノ一捆ノ物ニ對シマシテ三十七錢五厘ダケ、三十七錢前後ノ影響ガアルトシテ考ヘバ、十五年目ニ十八錢四厘程ノ影響ガアルヤウニ考ヘマス、十八錢内外ノ影響ガアルヤウニ考ヘマス、其他計算ヲ致シテ見マシテ、之ガ新關稅ア以テ持ツテ行キマシテモ、其位ノ影響ノヤウニ思ヒマス、次ニ我ガ綿絲全體ニ對スル影響ハドウデアルカト云云フコトヲ考ヘテ見マスト云フト、年々我國ニ於テ増設セラレタル所ノ紡機ノ數ト云フモノヲ考ヘテ見マスト、平均一箇年ニ二十五六萬錘ノヤウニ考ヘテ居リマス、サウシテ唯今ハ紡機ノ錘數ト致シマシテハ五百二十六万錘デゴザイマスノニアリマス、此二十五万錘ト云フノハ五百萬錘ニ對シテ五分程デアリマスルノデ、是モソレ程ノ負擔トハ考ヘテ居リマセヌ、次ニ綿絲ノ出來高カラ考ヘマシテ、輸出高カラ考ヘマシテ見マスルト云フト、綿絲ハ大體大正十三年ニ於キマシテ二百七万梶、輸出ガニ一十七万梶、輸出ハ九分ノ一位ニ當テ居リマス、是モ寧口是位ノ、九分ノ一位ノコトデアリマスノデ、之ニ負擔サセナイト云フコトモ出來ルダラウト考ヘテ居リマス、更ニ關稅ヲドレダケノ影響ヲ及ボスカト云フコトヲ考慮イタシテ見マスト、試ミニ先程申上ダマシタ「ユニット」ノ三万錘ノ工場ヲ新設イタシマシタ場合ニ於テ、其資本金ヲ約三百萬圓ト致シマシテ、其工場ノ紡績機械ヲ百四

十万圓程ト致シマス、之ニ對シマシテ關稅ノ增加ハ四分デゴザイマスルノデ、其額ガ五万六千圓程ニナリマスル、總資本ニ對シマシテ、三百万圓ニ對シマシテ一分八厘程ノ影響デゴザイマス、更ニ投資額ニ對シマアルノデアリマス、全體カラ見マシテ私申上ダラレマセヌ、併ナガラ一面ニ於キマシテ、先程申上ダマシタ通りニ、綿絲布ノ重大ナルコトニ鑑ミテ見マスレバ、綿絲布ガ重大ナルト同時ニ其基礎タル機械モ重大デアルノデゴザイマスルカラシテ、今日ニ於キマシテ、サウシテ將來ニ於ケル紡績機械ハ紡績業者ニ於キマシテモ之ヲ忍ンデ貰ヒマシテ、サウシテ將來ニ於ケル紡績機械工業ノ基礎ヲ確實ニシタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマシテ、一割ト云フ稅率ハ機械トシテハ最モ低イノデゴザイマス、ソレカラ次ニ「メリヤス」機械ノ御尋デゴザイマシタガ、此「メリヤス」機械ト致シマシテハ今ハ我國ニ於キマシテ、是ハ非常ニ發達ヲ致シテ居リマス、今ヤ普通ノ手動機ト云フモノノ殆ド大部分ハ輸出品ヲ以テ需要ヲ充シテ居ル、且ツ支那へ輸出ヲスルト云フ狀態デアリマスノデ、手機械ニ至リマシテハ内地ノ製作ヲ見ルニ至リマシタケレドモ、既ニ輸入品ノ壓迫ヲ受ケテ居リマシマス、大正十一年ニ於テ二十一萬、十二年ニ於テ二十二萬ト云フモノデハゴザイマスルガ、是カ外國品ノ壓迫ヲ受ケテ居リマシ

テ、今ヤ甚ダシク悲境ニアルノデゴザイマス、ソコデ生産ノ度ヲ參酌イタシマシテ平均ノ割五分ト云フモノヲ取ツタノデゴザイマス、是モ大ルト云フヤウナ狀態デゴザイマス、是モ大ナル工業ト致シマシテ此程度ノ保護ヲ仰ギシテ基礎ノ確實ヲ期シタイト云フ考ヘデアルノデゴザイマス、是ガ爲ニ紡績、「メリヤス」業ニ重大ナル影響ヲ與ヘテ、御詫ノヤウナ輸出ガ衰頽ニ歸スルト云フ程ノコトハナカラウト斯様ニ考ヘテ居ル次第ゴザイマス

○稻畑勝太郎君 紡績聯合會ニ於キマシテ、此紡績機械ニ輸入税ヲ増加スルト云フコトニ反対ノ決議ヲシテ居ルノデアリマス、ソレデ此處ニ意見書ガ參テ居リマスルガ、其意見書ニ依リマシテモ、我ガ機械製造事業ト云フモノハマダ幼稚デアル故ニ、此幼稚ナル機械ヲ以テ國際競争ニ當ルコトハソレヲ使用シテ國際競爭ニ當ルト云フコトハ出來ナイ、又次ニ日本デ出来タモノハ六万錘ヨリ出來テ居ラヌ、所ガ其現今ノ内地ニ於ケル紡機ノ製造能力ト云フモノハ四万錘ニアリマシテ、時價百二十万圓ヲ越エナイノデアル、然ルニ紡績機械ノ輸入ハ大正十一年中ニ三千万圓、十二年中ニ二千方圓、十三年中ニ一千二百萬圓、十四年上半年ニ三百五十万圓ニ上ツテ居ル、今後ニ増錘ヲシマシテモ到底内地ノ機械ニ依賴スル所コトハ出來ナイ、況ンヤ此工場法が實施サレマシテ、三年後ハ從來ノ能率ヲ維持シヤウト云フコトニナリマスレバ一百万錘ヲ殖サナケレバナラヌ、此價額ガ三千万圓デアル、唯今政府委員ノ仰シャルノニハ此五百万錘ヲ割附ケタナラバ一箇年ノ需要ハ二十五万錘デアル、斯ウ仰シヤイマス

ルケレドモ是ハ平均二十五万錘、規則的ニ
二十五錘ツ増錘ヲシタモノデハナイ、景
氣ノ順調ニ依テハ一時ニ増錘ヲシナケレ
バナラヌ、或ハ或時ニハ機械ノ注文ノナイ
コトモアル、シテ見ルト現ニ夜業廢止ノ結
果或ハ三年間ニ百万錘ノモノヲ增錘シナケ
レバナラヌト云フヤウナコトハ到底我ガ現
今ノ機械工業、日本ニ於ケル機械工業ノ能
率ニ供給シ得ルコトガ出來ナイノデアリマ
ス、又サウ云フ意味ニアリマスノミニナラズ
本邦ノ紡績業ノ建設費ハ世界ニ無比ナル高
價ニ付イテ居ル、英國ノ二倍、日本ノ紡績
ノ建設費ハ英國ノ建設費ノ二倍、米國ノ五
割高ニナツテ居ルコトハ是ハ一般ノ周知ノ
事實デアル、サウシテソレガ爲ニ此發達ハ
極メテ困難ナル場合ニ、紡績機械ノ輸入稅
率ヲ上げルト云フコトハ、延ヒテ此建設費
ヲ尙ホ以上高クスルコトニナルノデアルカ
ラシテ、此稅率ニハ賛成スルコトガ出來ヌ
ト云フノガ紡績聯合會ノ意見デ、私ノ方ニ
モ委員長齋藤常蔵君カラ出テ居ル、然ラバ
政府ハ紡績聯合會ノ意思ニ反シテデモ之ヲ
増稅ナサルト云フ御意思デアルカ、之ヲ伺
ヒタイ

ルト云フコトモ是モ承知イタシテ居リマスカラ、唯今既ニ出來テ居リマスルモノヲ保護スルト云フ趣旨デ税率ヲ盛テ居リデアルト考ヘマス、其際ニ於テ四分ノ一ノ時間ヲ制限サレルコトニナリマスカヌラ、或ハ二交替ニ致シマスルカ、何交替ニ致シマスルカ、ソレニ依リマシテ作業能率ニアリマスカ、従ヒマシテ生産ノ上ニ影響ヲ及ボシ、從ヒマシテ需要ニ應ジテ進展ヲ圖ル爲ニ錘ヲ増サナケレバナラヌ、是モ御尋ノ通瞭ナコトデゴザイマスルノデ、其點ニ付テハソレモ考ニ入レマシテ、是ハ今日擴張ナセムトシテ居ルヤウナ考デゴザイマスルガ、尙ホ需要ニ對シテ供給ヲ裕カニ圓滑ニ致シタイト云フ點カラ、折角擴張イタシテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、尙ホ東京瓦斯電氣ニ於テ計畫シテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ豊田織機ニ於テハ唯今製作中ノモノガ七万錘ホドモゴザイマスルノハ御尋ノ通リデゴザイマス、最後ニ紡績聯合會ノ意思ニ反シテモ此關稅ヲ上ゲルト云フニ付テ御話デゴザイマシタガ、私ドモ從來申上ダタ通リデゴザイマシテ、適當ナル關稅率ト考ヘテ居リマシテ、是ヲ以テ今日ノ紡績工業ヲ確立スベキモノト、斯様ニ信ジテ居ラヌマス次第デゴザイマス

當局ニ於テハ尙ホ御考慮アラムコトヲ私ハ
切ニ此機會ニ於テ希望スル次第デアリマス
○倉知鐵吉君 チヨット御伺イタシマスガ
六百五號ノ四、紡績用及燃絲用「スピンドル
ル及フライヤー」(鐵製ノモノ)是ハ二十圓
六十錢ノモノヲ三十一圓七十錢ニ引上ダマ
シタ、其引上ノ理由ハ唯今紡績機械ニ付テ
御説明ニナツタノト同ジコトト承知シテ官
シウゴザイマスカ

○政府委員(宮内國太郎君) 「スピンドル
及「フライヤー」ハ矢張リ保護スル意味デ
率ヲ引上ダカト云フ斯様ナ御尋デアリマ
スカ、御趣旨ヲチヨット…

○倉知鐵吉君 五百九十七號ノ紡績機械ニ
付テ唯今縷々御話シガアリマシタガ、同ジ
理由デゴザイマスカト云フダケデス

○政府委員(宮内國太郎君) 左様デゴザイマ
ス、保護ノ意味ヲ以チマシテ今日此意味
ニ於テ税率ヲ引上ダマシタノデゴザイマス
○倉知鐵吉君 宜シウゴザイマス

○政府委員(矢部規矩治君) 斯波男爵ノ線
索ニ關スル御質問ニ對シテ誤譯テ御答ヲ致
シタ點ガアリマシタカラ訂正イタシタイト
思ヒマスガ…

○委員長(伯爵柳澤保惠君) チヨット番號
ヲ仰シヤッテ下サイ

○政府委員(矢部規矩治君) 四百六十二ノ
十一號、線索デゴザイマス、ソレニ對シマ
シテ此改正案ノ税率ガ十九圓バカリヲ土臺
ニシテ算出イタシクト申上げマシタガ、計
算イタシテ見マスルト二十三圓九十錢ト云
フモノヲ土臺ト致シテ計算イタシタ譯デゴ
ザイマス、訂正イタシテ置キマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) チヨット政府
委員ニ申上ダマスガ、委員諸君カライロ…
數量ニ付イテノ御質問ガアリマシタガマダ
御配付ニナラヌト存ジマス、成ルベクハソレ

ヲ早ク御願イタシマス、アナタバカリデハ
ナイ各省ニチヨコノアリマス、外ノ政府
委員ニモ御傳ヘテ願ヘレバ結構デス
○政府委員(矢部規矩治君) ハイ：

○男爵斯波忠三郎君 五百六十三及五百六
十四、自動車ニ關スル自動車税從來完全ナ
ルモノハ五割、部分品三割ト云フコトニ
ナツテ居リマシタガ、今度モ矢張リ從價其通
リニナツテ居ル譯デアリマスガ、自動車税ハ
外ノ機械類ニ對シテ比較シテ非常ナル高稅
ヲ盛々タ所以ノモノハ、是ハ奢侈品ト見ラレ
タ譯デハ無論ナカラウト思ヒマス、自動車
ハ目下奢侈品デアルト云フコトハ御考ニ
ナツテ居ラヌ、必需品ニ違ヒナイ、併シ此高
イ税ヲ盛々テアル所以ハ、一ハ軍事工業ニ
關係ガアル爲メダラウト思フノデアリマス
ガ、而シテ軍事的ニドノ位ノ數量ガアルモ
ノデアルカト云フコトヲ考ヘテ見マスル
ト、是ハ軍事當局デアリマセヌカラヨク判
リマセヌガ、全般ニ國內ニ使用スル自動車
ノ數ニ較ベテ見レバ僅カナ數デアラウト思
フ、而モ特有ノ自動車ハ軍事的ニ必要デ
アツテ、ソレヲ自給シナケレバナラヌト云
フコトガ軍事當局ノ意見デアラウト思フノ
デアリマス、即チ所謂「トランク」ト申シマ
スカ、普通ノ乗用ト云フカ、寧口荷物運
搬ニ使フモノガ軍事的ニ必要デアツテ、而モ
其數量ハ國內全般ニ使フ自動車ノ數量ニ比
べテ見レバ、現在デモ六分之一ト云フヤウ
ナモノデアリマセウシ、尙ホ今後ニ諸外
國ノ例カラ御詔シ申シマスレバ、例ヘバ英
吉利ニハ現在百万臺以上アリ亞米利加ニハ
一千臺以上アルト云フコトヲ考テ見マス
ルト、將來我國ニ於テモ自動車ノ發達ト云
フコトハ、大イニ是ハ道路ノ改良ト共ニ獎
勵シナケレバナラヌモノデアラウト思フノ
デス、例ヘバ地方ノ極ク貧弱ナ鐵道ノ輸送

ニ替ヘルニ自動車ヲ以テ輸送スルト云フガ
如キコト、又食糧品ノ運搬、近郊カラ市ノ
中央ニ向シテ食料品ノ運搬輸送即チ野菜ト
カ、魚類ト云フヤウナモノヲ運ブニ自動車
デ運搬スルト云フコトハ時代ニ一番適シタ
モノデアルト思フ、然ルニモ拘ラズ、自動
車ソレ自身ノ關稅率ガ斯ノ如ク高課デアル
ト云フコトハ、極少部分ノ軍事的ニ必要
ナル自動車ヲ保護セムガ爲ニ課ケルモノデ
アルトスレバ、一般ノ消費者ハ、國民ハ之
ニ依テ小運送ノ唯一ノ機關デアルトシマ
スレバ、運賃ガソレガ爲ニ非常ニ高イト云
フコトモ想像ガ出來ルノデアリマス、軍事
的ニ必要ナル自動車ヲ外ノ方法デ獎勵助長
スルト云フコトヲ御講ジニナツテ、一般ノ
自動車ノ稅率ヲズット低クシ、普通ノ機械類
或ハソレ以下ニモスル必要ガアルカト思
フ、殊ニ私ノ知テ居ル範圍ニ國内ニ於テ
自動車ノ製造ト云フモノハ思フヤウニ出來
テ居ナイト思フ、自動車ノ製造ヲシテ居ル
會社ト云フモノハ極ク僅カデアルト思ヒマ
ス、三ツカ四ツ位デアラウト思ヒマス、而
モ或ル特殊ノ自動車ガ保護金ヲ受ケテ、陸
軍ノ軍事保護金ヲ受ケテ、漸ク製造ニ從事
シテ居ルト云フヤウナ狀況デアルト思フ、
若シサウデアルト致シマスレバ、日本デハ
十分ニ出來ナシ此自動車ヲ斯カル高率デ保
護スルト云フコトハ餘リニ一小部分デアル
軍需品ノ爲デアルトスレバ、一般ハ甚ダ迷
惑ニ感ズル次第ジャナイカト斯ウ考ヘマ
ス、當局ノ意見ハ如何デアリマセウカ、極
ク簡單ニ、御答ヘテ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(矢部規矩治君) 是ハ外務當局
カラ御答スルガ宜シカラウト思ヒマスガ、
承知シテ居ル範圍ニ於テ御答ヲ致シマス、
佛蘭西協定ハ疾ク期限ガ切レマシテ今ハ
暫定デ續ケテ居リマシテ六箇月毎ニ更新ヲ
致スト云フヤウナ譯デアリマス

○和田彦次郎君 唯今御質問ニナツテ居リ
業ヲ更ニ進メテ、更ニ製造工業迄惹キ起サ
シテ行クト云フコトが宜シトイ云フ議論モゴ
ザイマシタ、併シ此自動車ニ關シマシテハ
アルトスレバ、一般ノ消費者ハ、國民ハ之
ニ依テ小運送ノ唯一ノ機關デアルトシマ
ス、ソレカラシテ部分品ニ付キマシテハ八
三三「ペーセント」ノ協定ガゴザイマシテ、
適用スル稅率ハ五割ガ三割五分ニナリマ
ス、ソレカラシテ部分品ニ付キマシテハ八
三三「ペーセント」ノ協定ガゴザイマシテ、
適用スル稅率ハ二割五分ニ當リマス、三割、
五割ト申シマスト非常ニ高率ト思ヒマスケ
レドモ、實際ニ輸入サレル場合ニ適用サレ
ル稅率ハ、自働車ニ對シテ三割五分、部分
品ニ對シテ二割五分デゴザイマスカラ、他
ノ物品ニ比較イタシマシテ適當デハナイカ
知ラヌ、殊ニ更ニ之ヲ引下ルト云フコト
ニ致シマスレバ、獎勵法ヲ設ケテ製造ヲ獎
勵シテ居ル趣旨ト反スルト云フコトニナリ
マスノデ、斯様ニ致シタ譯デアリマス、ソ
レカラ他ノ機械トノ比較ニ付キマシテハ茲
ニ原動力機ヲ除キマシテ、其原動力機ダケ
ハ全ク普通ノ機械ト同様ノ課稅ヲ致シテ居
ルヤウナ譯デ、其他ノ金屬ノ部分並ニ木製
ノ部分ハ從價二割ト云フヤウニ致シタノデ
アリマス、此稅率ノ下デ相當ノ製造ガ行ハ
レテ行カウカト思フテ居ルノデアリマス
○男爵斯波忠三郎君 佛蘭西トノ協定ハ何
時マデデスカ

○政府委員(矢部規矩治君) 左様デゴザ
マス、詰リ現在ハ三十四圓ノ稅率デゴザイ
マスガ、五十「ペーセント」ノ日佛協定ガゴ
ザイマスノデ是ガ稅關ニ於キマシテ課稅ス
ル稅金ハ十二圓ト云フコトニナリマス、ソ
レデ今度ノ改正案ニ於キマシテ四十三圓八
十錢ニナリマス、其五十「ペーセント」ヲ乘
ジタル二十一圓九十錢ト云フモノガ課稅セ
ラレルト云フコトニナリマス

○男爵斯波忠三郎君 私チヨント一般的ノ
極ク簡單ナ問題デスガ、協定稅率ノ今ノ莫
大小機械ノ如キ自動車ノ如キ協定稅率ニ關
係アルモノヲ、是ハ何處デ見タラ分カルノ
デアリマスカ

○政府委員(矢部規矩治君) 對照表ノ備考
欄ヲ御覽下サイマスト、備考欄ニ協定ノコ

